

第２期宮城県教育振興基本計画第１次アクションプランの策定について

１ 目的

第２期宮城県教育振興基本計画（計画期間：平成２９年度から平成３８年度まで（１０年間））に掲げた目標を着実に推進していくため、実施する施策の内容や年次計画などを具体的に示すアクションプランを策定するもの。

２ 計画期間 第１次：平成２９年度から平成３２年度まで（４年間）

３ アクションプランの構成

| | | |
|-----|-------------------------------|----|
| I | はじめに | |
| 1 | 第２期宮城県教育振興基本計画の策定（目指す姿，計画の目標） | |
| 2 | アクションプラン策定の趣旨 | |
| II | 施策の展開 | |
| 1 | 施策の全体体系 | |
| 2 | 「宮城の将来ビジョン」及び「宮城県震災復興計画」との関係 | 新規 |
| 3 | 「第２期宮城県教育振興基本計画」の点検及び評価 | 新規 |
| III | 基本方向ごとの取組（基本方向１～基本方向１０） | |
| 1 | 方向性（第２期計画から抜粋） | 新規 |
| 2 | 第１次アクションプランにおける取組 | |
| | ・主な取組内容，目標指標，取組の工程表 | 新規 |
| 3 | 平成２９年度の主な事業 | |
| | ・事業名，事業概要（平成２９年度の主な取組） | 新規 |
| | 事業期間，H29当初予算額，担当課室 | |
| IV | 平成２９年度 特に注力する事業（事業イメージ図） | 新規 |

４ アクションプランの内容等

- ・ 第２期計画における取組の方向性に基づき，第１次アクションプランにおける４年間の主な取組内容及び年度ごとの目標値を掲載するとともに，取組の年次計画や対象となる発達段階を示す「取組の工程表」を掲載。
- ・ 基本方向ごとに，主な事業の一覧表を掲載するほか，平成２９年度に特に注力する事業については，それぞれの事業の概要を示す「事業イメージ図」を掲載。
- ・ P D C A サイクルによる進行管理を行うため，県で実施している政策評価・施策評価と一体的に第２期計画の点検及び評価を実施し，毎年度，アクションプランの改定を行う。

５ 備考

第１次アクションプランについては，第２期計画の策定と併せて，平成２９年３月に策定・公表予定。

第２期みやぎの教育情報化推進計画について

1 計画策定の趣旨と位置付け

- 平成２５年３月に「みやぎの教育情報化推進計画」（以下、「第１期計画」という。）を策定し、高度情報化社会に対応する児童生徒の育成を目指し、教育の情報化を推進してきた。
- 一方、今日の情報通信技術の進歩は著しく、新しい通信技術やそれを生かした学習支援、あるいは、スマートフォンやSNSの急速な普及によるトラブルや生活の乱れなどの対応に加え、２１世紀を生き抜くための基盤となる情報活用能力の育成が喫緊の課題となっている状況である。
- 現在策定中の第２期宮城県教育振興基本計画（以下、「基本計画」という。）においては、ICT教育の推進を掲げ、情報教育の充実や教科指導におけるICT活用等の推進を図り、確かな学力の育成を目指すこととしており、当該基本計画を具現化するための取組として、また、今年度末に計画期間が終了する第１期計画の後継計画として、本県教育の情報化の現状や課題を踏まえつつ、目指すべき姿とその実現に向けた施策等を示す「第２期みやぎの教育情報化推進計画」を策定したものの。

2 計画期間

平成２９年４月から平成３２年３月まで（３か年）

3 対象

県内の公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

4 施策の基本方向と取組

| | 施策の基本方向 | 基本方向を実現する取組（本編のページ） |
|---|------------------|--|
| ① | 情報教育の充実 | ○体系的な情報教育の推進（P9～10） ○情報モラル教育の推進（P11～12） ○ <u>学習指導要領の改訂等の新しい方向性に向けた対応（P13）</u> |
| ② | 教科指導におけるICT活用の推進 | ○ <u>教科指導におけるICT活用「MIYAGI Style」の普及と定着（P14）</u> ○産業を担う専門高校や専門学科でのICT活用の充実（P15） ○ <u>教育機会を保障するためのICTの活用（P16）</u> ○ <u>教員のICT活用指導力の向上（P17～18）</u> |
| ③ | 特別支援教育での活用 | ○ <u>児童生徒一人一人の特性に応じた「@MIYAGI Style」の普及と定着（P19）</u> ○ICTを活用した個別の指導計画・教育支援計画の共有による個に応じた指導や支援の充実（P20） |
| ④ | 校務の情報化の推進 | ○学校運営支援統合システムの利用促進と普及（P21） ○ICTを活用した地域や保護者への情報発信（P22） |
| ⑤ | 学校におけるICT教育環境の整備 | ○教育の情報化を推進、支援する体制の整備（P23） ○ <u>教育の情報化を支えるインフラの整備（P24～25）</u> ○ <u>情報セキュリティの確保（P26～27）</u> |

※ 表中の下線部は、基本方向を実現する取組のうち、新規の取組を示している。

5 計画の特色

- 「学習指導要領の改訂等の新しい方向性に向けた対応」や「教科指導におけるICT活用「MIYAGI Style」の普及と定着」など，新たな教育環境への対応や県教育委員会として充実・強化すべき取組について整理・見直し
- 基本方向を実現する取組では，具体の施策毎に「現状・課題」や「目標指標」等を個表として整理し，個表には，各種会議の開催や研修会の実施，教育の情報化を支えるネットワークの整備など，具体的な取組を明記することにより，基本計画を実現するためのアクションプランとして計画を策定
- 計画の着実な推進や進行管理を行うため施策毎に工程表を作成（P29～31）

6 その他

- 計画の策定に当たり，外部有識者の知見を活用したほか，市町村教育委員会を対象とした説明会やパブリックコメントの実施など，幅広く計画に対する意見照会や説明を行いながら，策定を進めた。

第2期みやぎの教育情報化推進計画(計画期間:平成29年度～平成31年度)の概要

【計画策定の趣旨】

本県では、平成25年3月に「みやぎの教育情報化推進計画」を策定し、教育の情報化を推進してきた。一方、今日の情報通信技術の進歩は著しく、新しい通信技術やそれを生かした学習支援、あるいは、情報化の影の部分への対応に加え、21世紀を生き抜くための基盤となる情報活用能力の育成が喫緊の課題となっている。このようなことから、現在策定中の「第2期宮城県教育振興基本計画」において掲げている「ICT教育の推進」や本県教育の情報化の現状及び課題等を踏まえ、新たな行動計画である教育情報化推進計画を策定した。

【計画の目的】 情報化社会・グローバル社会において主体的に学び、考え行動するみやぎの児童生徒の育成

教育の情報化(3つの柱)

情報教育：情報活用能力の育成

教科指導におけるICT活用：わかりやすく深まる授業の実現

校務の情報化：校務の情報化による教育の質の向上

【施策の基本方向1】 情報教育の充実

- 【現状・課題】
- 1 情報教育を行うための計画的・体系的な取組が重要
 - 2 情報セキュリティを含む情報モラルを指導力する能力の向上
 - 3 スマートフォンやSNSの急速な普及によるトラブルや生活リズムの乱れ等への対応
 - 4 学習指導要領の改訂など、新たな教育環境の変化

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **体系的な情報教育の推進**
 - ・市町村における教育情報化推進計画策定の推進と第2期みやぎの教育情報化推進計画の着実な実施
 - ・各教科での情報活用能力の育成
 - 2 **情報モラル教育の推進**
 - ・情報セキュリティを含む情報モラル教育の理解と研修の推進
 - ・情報モラル教育における家庭・地域との連携
 - 3 **学習指導要領の改訂等の新しい方向性に向けた対応**
 - ・学校を取り巻く変化への対応に向けたICT教育環境の検討と整備

【施策の基本方向2】 教科指導におけるICT活用の推進

- 【現状・課題】
- 1 ICTを活用したわかりやすく深まる授業の実現
 - 2 ICTの進展に対応する高度な専門教育の実践
 - 3 諸事情により学校に通うことができない児童生徒に対する学習の支援
 - 4 「教員のICT活用指導力」や「学校におけるICT環境の整備」において全国平均よりも低調

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **教科指導におけるICT活用「MIYAGI Style」の普及と定着**
 - ・「MIYAGI Style」によるわかりやすく深まる授業の実践と着実なICT機器整備の推進
 - 2 **産業を担う専門高校や専門学科でのICT活用の充実**
 - ・地域企業や高等教育機関と連携したICTを活用した授業の促進
 - 3 **教育機会を保証するためのICTの活用**
 - ・ICTの特性や強みを生かした学習機会の提供
 - 4 **教員のICT活用指導力の向上**
 - ・総合教育センターによる専門的・総合的なICT活用研修の充実

【施策の基本方向3】 特別支援教育での活用

- 【現状・課題】
- 1 児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じたAT (Assistive Technology: 支援技術) を活用した教科指導や社会参画への支援
 - 2 個々の児童生徒の教育的ニーズに即したきめの細かい指導の充実
 - 3 情報教育の教育課程への位置付けの推進

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **児童生徒一人一人の特性に応じた「@MIYAGI Style」の普及と定着**
 - ・児童生徒一人一人の特性に応じたICT活用の充実と推進
 - 2 **ICTを活用した個別の指導計画・教育支援計画の共有による個に応じた指導や支援の充実**
 - ・一人一人の学習目標を明確にした指導体制の推進及び情報教育の充実

【施策の基本方向4】 校務の情報化の推進

- 【現状・課題】
- 1 統合型校務支援システムの整備率が全国平均よりも低調
 - 2 「児童生徒と向き合う時間の確保」による教育の質の向上
 - 3 学校ホームページによる情報発信
 - 4 スマートフォンなど、多様な通信媒体への学校からの情報発信力の充実

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **学校運営支援統合システムの利用促進と普及**
 - ・県立高校でのシステムの普及・定着と特別支援学校や市町村教育委員会への導入促進
 - 2 **ICTを活用した地域や保護者への情報発信**
 - ・学校ホームページ等のインターネットを活用した情報発信力の強化

【施策の基本方向5】 学校におけるICT教育環境の整備

- 【現状・主な課題】
- 1 教育の情報化を推進、支援する体制の充実
 - 2 「教員のICT活用指導力」や「学校におけるICT環境の整備」において全国平均よりも低調
 - 3 個人情報の漏えい、コンピュータウイルス、不正アクセスなど、情報セキュリティリスクの増大

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **教育の情報化を推進、支援する体制の整備**
 - ・教育の情報化を支える体制と支援する取組の充実
 - 2 **教育の情報化を支えるインフラの整備**
 - ・宮城県教育情報システム (SWAN II) の再構築の推進
 - ・市町村教育委員会におけるコンピュータやネットワークなどのインフラ整備の推進
 - 3 **情報セキュリティの確保**
 - ・職員一人一人に対する意識啓発と各種研修会の活用による情報セキュリティ事故の防止
 - ・安全・安心なネットワーク環境の整備

※ 表中の下線部は、基本方向を実現する取組のうち、新規の取組を示している。

名取支援学校の分校設置について

少子化により児童生徒が減少する中、特別支援教育については県民の理解が進んだことなどから、特別支援学校への入学を希望する児童生徒数は増加している。

特に仙台圏域における知的障害特別支援学校の在籍者数は増加傾向にあり、普通教室の特別教室への転用や1学級の定員超過など、狭隘化の問題は大きな懸案となっている。

その解消を図るため、地域の小・中学校の校舎や余裕教室を活用した特別支援学校の分校等の設置について、これまで検討を進めてきたところであるが、今回、名取市との間で、以下のとおり合意に至ったものである。

1 設置分校の概要

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 分校を設置する学校 | 名取市立不二が丘小学校 |
| 設置学部 | 小学部（15～20人） |
| 必用となる教室数等 | 教室5 職員室 保健室 活動室 等（東校舎を活用予定） |
| 開校予定 | 平成31年4月 |

2 分校設置の効果

（1）児童生徒の学習環境の改善と通学の利便性向上

現在、名取支援学校では、図工室など特別教室を普通教室に転用し、また1学級の定員も超過するなど、劣悪な学習環境や教室不足にあることから、この改善を図ることができる。

通学区域を分校となる不二が丘小学校の周辺に設定することにより、これまでよりも通学時間を短縮することができる。

（2）共生社会の実現を目指した障害児に対する理解促進

自然な交流により、障害児に対する理解が進み、誰もが相互に人格と個性を尊重し合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型社会形成の基礎づくりに繋がる。

3 経過及び今後の予定

| | |
|-----------|--|
| 平成28年10月 | 県教育長から市教育長へ分校開設に係る協力について打診 |
| 12月 | 名取市長へ分校開設に係る協力を正式に依頼 不二が丘小学校及び名取支援学校教職員説明 不二が丘小学校及び名取支援学校PTA役員説明 |
| 平成29年1月末 | <u>不二が丘小学校保護者・地区住民説明会</u> |
| 平成29、30年度 | 改修設計及び改修工事 |
| 平成31年4月 | 開校（年次進行により児童受入） |

平成29年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る 後期選抜実施状況について

1 入学者選抜実施公立高等学校数・学科（コース・部を含む）数

| | | |
|--------------------------|----------|----------|
| （１）全日制課程：県立 6 6 校，市立 4 校 | 計 7 0 校 | 1 3 6 学科 |
| （２）定時制課程：県立 1 1 校，市立 2 校 | 計 1 3 校 | 2 1 学科 |
| | 合計 7 5 校 | 1 5 7 学科 |

※全日制課程と定時制課程の設置校は 8 校

2 総括

| | | 全日制課程 | | | 定時制課程 | | |
|-----------------|------------|---------------|--------|--------|--------------|-------|--------|
| | | H 2 9 | H 2 8 | 増減 | H 2 9 | H 2 8 | 増減 |
| 中学校卒業予定者数 ※1 | | 21,590 | 21,723 | ▲ 133 | | | |
| 募集定員 | | 14,720 | 14,760 | ▲ 40 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 前期選抜 | 募集人数 | 4,846 | 4,842 | 4 | 296 | 308 | ▲ 12 |
| | 出願者 | 7,979 | 8,346 | ▲ 367 | 199 | 204 | ▲ 5 |
| | 出願倍率 | 1.65 | 1.72 | ▲ 0.07 | 0.67 | 0.66 | 0.01 |
| | 合格者 | 4,575 | 4,619 | ▲ 44 | 143 | 141 | 2 |
| 社会人 特別選抜 | 募集人数 ※2 | | | | 若干名 | 若干名 | 0 |
| | 出願者 | | | | 0 | 2 | ▲ 2 |
| | 合格者 | | | | 0 | 2 | ▲ 2 |
| 連携型選抜 | 募集人数 | 106 | 106 | 0 | | | |
| | 出願者 | 57 | 63 | ▲ 6 | | | |
| | 合格者 | 51 | 53 | ▲ 2 | | | |
| 併設型中学校からの入学予定者数 | | 202 | 196 | 6 | | | |
| 後期選抜 | 募集人数 | 9,892 | 9,892 | 0 | 857 | 859 | ▲ 2 |
| | 出願者 | 11,912 | 12,259 | ▲ 347 | 273 | 294 | ▲ 21 |
| | 特例措置による出願者 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 出願倍率 | 1.20 | 1.24 | ▲ 0.04 | 0.32 | 0.34 | ▲ 0.02 |
| | 欠席者 | 161 | 145 | 16 | 4 | 4 | 0 |
| | 受験者 | 11,751 | 12,114 | ▲ 363 | 269 | 290 | ▲ 21 |
| | 受験倍率 | 1.19 | 1.22 | ▲ 0.03 | 0.31 | 0.34 | ▲ 0.03 |

※1 中学校卒業予定者数は、H29は平成28年5月1日現在、H28は平成27年5月1日現在の数字である。

※2 前期選抜募集人数の内数である。

（参考）連携型選抜実施校：志津川高校

併設型中学校：仙台二華中学校，古川黎明中学校

3 各学校・学科別の後期選抜実施状況

《全日制課程》

| 学校名 | 学科・コース | 平成29年度募集定員 | 前期選抜等合格者数 | 後期選抜募集人数 | 後期選抜出願者数 | | | | 後期選抜欠席者数 | | | 後期選抜受験者数 | | | 平成28年度後期選抜 | | |
|--------------|---------------|------------|-----------|----------|----------|-------|-------|------|----------|----|----|----------|-------|-------|------------|------|------|
| | | | | | 男 | 女 | 計 | 出願倍率 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 受験倍率 | 出願倍率 | 受験倍率 |
| 1 白石 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 104 | 67 | 171 | 1.02 | 8 | 1 | 9 | 96 | 66 | 162 | 0.96 | 1.20 | 1.18 |
| | 看護科 ● | 40 | 12 | 28 | 2 | 41 | 43 | 1.54 | 0 | 0 | 0 | 2 | 41 | 43 | 1.54 | 1.61 | 1.61 |
| 2 蔵王 | 普通科 | 80 | 13 | 67 | 18 | 20 | 38 | 0.57 | 0 | 1 | 1 | 18 | 19 | 37 | 0.55 | 0.48 | 0.46 |
| 3 白石工 | 機械科 ◎ | 80 | 32 | 48 | 49 | 3 | 52 | 1.08 | 0 | 0 | 0 | 49 | 3 | 52 | 1.08 | 1.02 | 1.02 |
| | 電気科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 26 | 0 | 26 | 1.08 | 0 | 0 | 0 | 26 | 0 | 26 | 1.08 | 0.50 | 0.50 |
| | 工業化学科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 17 | 9 | 26 | 1.08 | 0 | 0 | 0 | 17 | 9 | 26 | 1.08 | 1.58 | 1.58 |
| | 建築科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 27 | 9 | 36 | 1.50 | 0 | 0 | 0 | 27 | 9 | 36 | 1.50 | 0.88 | 0.88 |
| | 設備工業科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 40 | 2 | 42 | 1.75 | 0 | 0 | 0 | 40 | 2 | 42 | 1.75 | 1.79 | 1.79 |
| 4 村田 | 総合学科 | 120 | 27 | 93 | 37 | 33 | 70 | 0.75 | 0 | 0 | 0 | 37 | 33 | 70 | 0.75 | 1.01 | 1.00 |
| 5 柴田農林 川崎 | 食農科学科・動物科学科◎★ | 80 | 32 | 48 | 29 | 13 | 42 | 0.88 | 2 | 0 | 2 | 27 | 13 | 40 | 0.83 | 1.04 | 1.04 |
| | 森林環境科・園芸工学科◎★ | 80 | 32 | 48 | 50 | 12 | 62 | 1.29 | 0 | 0 | 0 | 50 | 12 | 62 | 1.29 | 1.06 | 1.06 |
| | 普通科 | 40 | 6 | 34 | 10 | 5 | 15 | 0.44 | 0 | 0 | 0 | 10 | 5 | 15 | 0.44 | 0.75 | 0.75 |
| 6 大河原商 | 流通マネジメント科◎ | 80 | 33 | 47 | 13 | 36 | 49 | 1.04 | 0 | 0 | 0 | 13 | 36 | 49 | 1.04 | 1.29 | 1.29 |
| | 情報システム科 ◎ | 80 | 33 | 47 | 31 | 26 | 57 | 1.21 | 0 | 0 | 0 | 31 | 26 | 57 | 1.21 | 0.77 | 0.77 |
| | OA会計科 ◎ | 40 | 17 | 23 | 2 | 9 | 11 | 0.48 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9 | 11 | 0.48 | 0.71 | 0.71 |
| 7 柴田 | 普通科 | 120 | 23 | 97 | 50 | 56 | 106 | 1.09 | 0 | 0 | 0 | 50 | 56 | 106 | 1.09 | 1.08 | 1.08 |
| | 体育科 ● | 40 | 28 | 12 | 9 | 2 | 11 | 0.92 | 0 | 0 | 0 | 9 | 2 | 11 | 0.92 | 2.42 | 2.42 |
| 刈田柴田 地区計 | | 1,280 | 424 | 856 | 514 | 343 | 857 | 1.00 | 10 | 2 | 12 | 504 | 341 | 845 | 0.99 | 1.06 | 1.06 |
| 8 角田 | 普通科 | 160 | 48 | 112 | 68 | 42 | 110 | 0.98 | 0 | 0 | 0 | 68 | 42 | 110 | 0.98 | 0.90 | 0.90 |
| 9 伊具 | 総合学科 | 120 | 27 | 93 | 43 | 17 | 60 | 0.65 | 0 | 0 | 0 | 43 | 17 | 60 | 0.65 | 0.68 | 0.68 |
| 伊具 地区計 | | 280 | 75 | 205 | 111 | 59 | 170 | 0.83 | 0 | 0 | 0 | 111 | 59 | 170 | 0.83 | 0.80 | 0.80 |
| 南部 地区合計 | | 1,560 | 499 | 1,061 | 625 | 402 | 1,027 | 0.97 | 10 | 2 | 12 | 615 | 400 | 1,015 | 0.96 | 1.01 | 1.01 |
| 10 名取 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 136 | 121 | 257 | 1.53 | 0 | 2 | 2 | 136 | 119 | 255 | 1.52 | 1.57 | 1.57 |
| | 家政科 ● | 40 | 16 | 24 | 0 | 41 | 41 | 1.71 | 0 | 1 | 1 | 0 | 40 | 40 | 1.67 | 1.50 | 1.50 |
| 11 名取北 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 110 | 117 | 227 | 1.16 | 0 | 1 | 1 | 110 | 116 | 226 | 1.15 | 1.38 | 1.38 |
| 12 亘理 | 普通科・普通コース ◎ | 40 | 16 | 24 | 32 | 19 | 51 | 2.13 | 0 | 1 | 1 | 32 | 18 | 50 | 2.08 | 1.15 | 1.12 |
| | 普通科・園芸コース ◎ | 40 | 1 | 39 | 29 | 17 | 46 | 1.18 | 0 | 0 | 0 | 29 | 17 | 46 | 1.18 | 1.11 | 1.11 |
| | 食品化学科 ◎ | 40 | 2 | 38 | 30 | 15 | 45 | 1.18 | 0 | 0 | 0 | 30 | 15 | 45 | 1.18 | 1.24 | 1.24 |
| | 商業科 ◎ | 40 | 6 | 34 | 22 | 15 | 37 | 1.09 | 0 | 0 | 0 | 22 | 15 | 37 | 1.09 | 0.64 | 0.64 |
| | 家政科 ◎ | 40 | 8 | 32 | 1 | 30 | 31 | 0.97 | 0 | 0 | 0 | 1 | 30 | 31 | 0.97 | 0.90 | 0.90 |
| 13 宮城農 | 農業科・園芸科 ◎★ | 120 | 48 | 72 | 82 | 45 | 127 | 1.76 | 1 | 0 | 1 | 81 | 45 | 126 | 1.75 | 1.26 | 1.26 |
| | 農業機械科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 27 | 0 | 27 | 1.13 | 0 | 0 | 0 | 27 | 0 | 27 | 1.13 | 1.71 | 1.71 |
| | 食品化学科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 26 | 13 | 39 | 1.63 | 0 | 0 | 0 | 26 | 13 | 39 | 1.63 | 1.58 | 1.58 |
| | 生活科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 10 | 25 | 35 | 1.46 | 0 | 0 | 0 | 10 | 25 | 35 | 1.46 | 1.50 | 1.50 |
| 亘理名取 地区計 | | 1,000 | 301 | 699 | 505 | 458 | 963 | 1.38 | 1 | 5 | 6 | 504 | 453 | 957 | 1.37 | 1.35 | 1.35 |
| 14 仙前一 | 普通科 | 320 | 64 | 256 | 223 | 129 | 352 | 1.38 | 1 | 0 | 1 | 222 | 129 | 351 | 1.37 | 1.51 | 1.50 |
| 15 仙台二華 | 普通科 ■ | 240 | 147 | 93 | 41 | 100 | 141 | 1.52 | 1 | 0 | 1 | 40 | 100 | 140 | 1.51 | 1.01 | 1.00 |
| 16 仙台三桜 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 33 | 245 | 278 | 1.42 | 2 | 1 | 3 | 31 | 244 | 275 | 1.40 | 1.34 | 1.32 |
| 17 仙台南 | 普通科 ◎ | 160 | 48 | 112 | 94 | 60 | 154 | 1.38 | 6 | 0 | 6 | 88 | 60 | 148 | 1.32 | 1.37 | 1.29 |
| | 理数科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 32 | 6 | 38 | 1.58 | 5 | 1 | 6 | 27 | 5 | 32 | 1.33 | 1.29 | 0.79 |
| 18 仙台南 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 141 | 104 | 245 | 1.25 | 11 | 3 | 14 | 130 | 101 | 231 | 1.18 | 1.80 | 1.76 |
| 19 仙台西 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 159 | 131 | 290 | 1.48 | 0 | 0 | 0 | 159 | 131 | 290 | 1.48 | 1.43 | 1.42 |
| 20 仙台東 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 130 | 88 | 218 | 1.30 | 5 | 0 | 5 | 125 | 88 | 213 | 1.27 | 1.45 | 1.43 |
| | 英語科 ● | 40 | 11 | 29 | 9 | 22 | 31 | 1.07 | 0 | 0 | 0 | 9 | 22 | 31 | 1.07 | 1.50 | 1.50 |
| 21 宮城工 | 機械科 ◎ | 80 | 32 | 48 | 59 | 2 | 61 | 1.27 | 5 | 0 | 5 | 54 | 2 | 56 | 1.17 | 1.54 | 1.46 |
| | 電子機械科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 23 | 0 | 23 | 0.96 | 5 | 0 | 5 | 18 | 0 | 18 | 0.75 | 1.42 | 1.33 |
| | 電気科 ◎ | 80 | 31 | 49 | 68 | 4 | 72 | 1.47 | 0 | 0 | 0 | 68 | 4 | 72 | 1.47 | 1.17 | 1.17 |
| | 情報技術科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 32 | 2 | 34 | 1.42 | 7 | 0 | 7 | 25 | 2 | 27 | 1.13 | 1.96 | 1.46 |
| | 化学工業科 ◎ | 40 | 14 | 26 | 29 | 8 | 37 | 1.42 | 0 | 0 | 0 | 29 | 8 | 37 | 1.42 | 1.92 | 1.88 |
| | インテリア科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 22 | 36 | 58 | 2.42 | 0 | 1 | 1 | 22 | 35 | 57 | 2.38 | 1.88 | 1.58 |
| 22 仙台工※ | 建築科 ◎ | 30 | 12 | 18 | 35 | 9 | 44 | 2.44 | 3 | 0 | 3 | 32 | 9 | 41 | 2.28 | 2.00 | 2.00 |
| | 機械科 ◎ | 70 | 28 | 42 | 73 | 1 | 74 | 1.76 | 1 | 0 | 1 | 72 | 1 | 73 | 1.74 | 2.10 | 2.10 |
| | 電気科 ◎ | 70 | 27 | 43 | 65 | 2 | 67 | 1.56 | 1 | 0 | 1 | 64 | 2 | 66 | 1.53 | 1.90 | 1.90 |
| | 土木科 ◎ | 30 | 12 | 18 | 30 | 3 | 33 | 1.83 | 0 | 0 | 0 | 30 | 3 | 33 | 1.83 | 2.06 | 2.06 |
| 仙台南 地区計 | | 2,400 | 814 | 1,586 | 1,298 | 952 | 2,250 | 1.42 | 53 | 6 | 59 | 1,245 | 946 | 2,191 | 1.38 | 1.51 | 1.47 |
| 中部南 地区合計 | | 3,400 | 1,115 | 2,285 | 1,803 | 1,410 | 3,213 | 1.41 | 54 | 11 | 65 | 1,749 | 1,399 | 3,148 | 1.38 | 1.46 | 1.43 |

《全日制課程》

| 学校名 | 学 科・コース | 平成29年度募集定員 | 前期選抜等合格者数 | 後期選抜募集人数 | 後期選抜出願者数 | | | | 後期選抜欠席者数 | | | 後期選抜受験者数 | | | 平成28年度後期選抜 | | |
|---------------|----------------|------------|-----------|----------|----------|-------|-------|------|----------|----|----|----------|-------|-------|------------|------|------|
| | | | | | 男 | 女 | 計 | 出願倍率 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 受験倍率 | 出願倍率 | 受験倍率 |
| 23 仙 台 二 | 普通科 | 320 | 96 | 224 | 196 | 124 | 320 | 1.43 | 0 | 1 | 1 | 196 | 123 | 319 | 1.42 | 1.21 | 1.20 |
| 24 仙 台 三 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 192 | 83 | 275 | 1.64 | 0 | 1 | 1 | 192 | 82 | 274 | 1.63 | 1.70 | 1.69 |
| | 理数科 ● | 80 | 32 | 48 | 47 | 8 | 55 | 1.15 | 0 | 0 | 0 | 47 | 8 | 55 | 1.15 | 1.42 | 1.40 |
| 25 宮 城 一 | 普通科 ◎ | 200 | 60 | 140 | 26 | 157 | 183 | 1.31 | 0 | 1 | 1 | 26 | 156 | 182 | 1.30 | 1.69 | 1.69 |
| | 理数科 ◎ | 80 | 32 | 48 | 35 | 35 | 70 | 1.46 | 4 | 0 | 4 | 31 | 35 | 66 | 1.38 | 0.88 | 0.82 |
| 26 宮城広瀬 | 普通科 | 280 | 70 | 210 | 158 | 169 | 327 | 1.56 | 1 | 0 | 1 | 157 | 169 | 326 | 1.55 | 1.48 | 1.47 |
| 27 泉 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 150 | 99 | 249 | 1.48 | 11 | 0 | 11 | 139 | 99 | 238 | 1.42 | 1.93 | 1.86 |
| | 英語科 ● | 40 | 16 | 24 | 24 | 21 | 45 | 1.88 | 2 | 0 | 2 | 22 | 21 | 43 | 1.79 | 1.92 | 1.92 |
| 28 泉松陵 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 163 | 97 | 260 | 1.33 | 0 | 0 | 0 | 163 | 97 | 260 | 1.33 | 1.50 | 1.50 |
| 29 泉館山 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 183 | 113 | 296 | 1.51 | 10 | 1 | 11 | 173 | 112 | 285 | 1.45 | 1.46 | 1.43 |
| 30 宮 城 野 | 普通科 | 160 | 40 | 120 | 118 | 105 | 223 | 1.86 | 9 | 2 | 11 | 109 | 103 | 212 | 1.77 | 1.46 | 1.37 |
| | 美術科 ◎ | 40 | 20 | 20 | 1 | 40 | 41 | 2.05 | 0 | 0 | 0 | 1 | 40 | 41 | 2.05 | 1.00 | 1.00 |
| | 総合学科 ● | 80 | 19 | 61 | 46 | 45 | 91 | 1.49 | 2 | 3 | 5 | 44 | 42 | 86 | 1.41 | 1.29 | 1.20 |
| 31 仙 台 栄 | 普通科 | 280 | 84 | 196 | 146 | 103 | 249 | 1.27 | 2 | 0 | 2 | 144 | 103 | 247 | 1.26 | 1.63 | 1.60 |
| 32 仙 台 商 栄 | 商業科 | 320 | 128 | 192 | 94 | 192 | 286 | 1.49 | 0 | 1 | 1 | 94 | 191 | 285 | 1.48 | 1.58 | 1.57 |
| 仙 台 北 地 区 計 | | 2,920 | 909 | 2,011 | 1,579 | 1,391 | 2,970 | 1.48 | 41 | 10 | 51 | 1,538 | 1,381 | 2,919 | 1.45 | 1.52 | 1.50 |
| 33 塩 釜 | 普通科 | 320 | 80 | 240 | 151 | 163 | 314 | 1.31 | 2 | 0 | 2 | 149 | 163 | 312 | 1.30 | 1.57 | 1.57 |
| | ビジネス科 | 80 | 24 | 56 | 37 | 76 | 113 | 2.02 | 0 | 0 | 0 | 37 | 76 | 113 | 2.02 | 1.71 | 1.71 |
| 34 多 賀 城 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 112 | 102 | 214 | 1.27 | 4 | 0 | 4 | 108 | 102 | 210 | 1.25 | 1.42 | 1.38 |
| | 災害科学科 ● | 40 | 16 | 24 | 21 | 8 | 29 | 1.21 | 2 | 0 | 2 | 19 | 8 | 27 | 1.13 | 0.92 | 0.88 |
| 35 松 島 | 普通科 ◎ | 120 | 36 | 84 | 94 | 71 | 165 | 1.96 | 0 | 0 | 0 | 94 | 71 | 165 | 1.96 | 1.87 | 1.87 |
| | 観光科 ◎ | 80 | 32 | 48 | 31 | 31 | 62 | 1.29 | 0 | 0 | 0 | 31 | 31 | 62 | 1.29 | 1.32 | 1.32 |
| 36 利 府 | 普通科 | 200 | 60 | 140 | 72 | 64 | 136 | 0.97 | 0 | 0 | 0 | 72 | 64 | 136 | 0.97 | 1.32 | 1.32 |
| | スポーツ科学科 ● | 80 | 56 | 24 | 45 | 10 | 55 | 2.29 | 0 | 0 | 0 | 45 | 10 | 55 | 2.29 | 1.54 | 1.54 |
| 塩 釜 地 区 計 | | 1,160 | 376 | 784 | 563 | 525 | 1,088 | 1.39 | 8 | 0 | 8 | 555 | 525 | 1,080 | 1.38 | 1.50 | 1.49 |
| 37 黒 川 | 普通科 ◎ | 80 | 17 | 63 | 49 | 50 | 99 | 1.57 | 0 | 0 | 0 | 49 | 50 | 99 | 1.57 | 1.18 | 1.18 |
| | 機械科 ◎ | 80 | 18 | 62 | 69 | 1 | 70 | 1.13 | 2 | 0 | 2 | 67 | 1 | 68 | 1.10 | 0.89 | 0.89 |
| | 電子工学科 ◎ | 40 | 6 | 34 | 13 | 2 | 15 | 0.44 | 0 | 0 | 0 | 13 | 2 | 15 | 0.44 | 0.85 | 0.85 |
| | 環境技術科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 25 | 15 | 40 | 1.67 | 0 | 0 | 0 | 25 | 15 | 40 | 1.67 | 1.38 | 1.38 |
| 38 富 谷 | 普通科・人文コース ◎ | 120 | 48 | 72 | 65 | 64 | 129 | 1.79 | 0 | 0 | 0 | 65 | 64 | 129 | 1.79 | 1.64 | 1.63 |
| | 普通科・国際コース ◎ | 80 | 29 | 51 | 20 | 30 | 50 | 0.98 | 0 | 0 | 0 | 20 | 30 | 50 | 0.98 | 1.17 | 1.15 |
| | 普通科・理数コース ◎ | 80 | 32 | 48 | 55 | 26 | 81 | 1.69 | 4 | 0 | 4 | 51 | 26 | 77 | 1.60 | 1.68 | 1.60 |
| 黒 川 地 区 計 | | 520 | 166 | 354 | 296 | 188 | 484 | 1.37 | 6 | 0 | 6 | 290 | 188 | 478 | 1.35 | 1.29 | 1.27 |
| 中 部 北 地 区 合 計 | | 4,600 | 1,451 | 3,149 | 2,438 | 2,104 | 4,542 | 1.44 | 55 | 10 | 65 | 2,383 | 2,094 | 4,477 | 1.42 | 1.49 | 1.47 |
| 39 古 川 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 120 | 72 | 192 | 1.14 | 2 | 0 | 2 | 118 | 72 | 190 | 1.13 | 1.17 | 1.17 |
| 40 古川黎明 | 普通科 ■ | 240 | 139 | 101 | 35 | 58 | 93 | 0.92 | 1 | 0 | 1 | 34 | 58 | 92 | 0.91 | 1.29 | 1.27 |
| 41 岩 出 山 | 普通科 | 120 | 36 | 84 | 38 | 32 | 70 | 0.83 | 0 | 0 | 0 | 38 | 32 | 70 | 0.83 | 0.77 | 0.76 |
| 42 中 新 田 | 普通科 | 120 | 36 | 84 | 43 | 38 | 81 | 0.96 | 0 | 0 | 0 | 43 | 38 | 81 | 0.96 | 1.01 | 1.01 |
| 43 松 山 | 普通科 | 40 | 9 | 31 | 5 | 3 | 8 | 0.26 | 0 | 0 | 0 | 5 | 3 | 8 | 0.26 | 0.32 | 0.32 |
| | 家政科 ● | 40 | 16 | 24 | 1 | 21 | 22 | 0.92 | 0 | 1 | 1 | 1 | 20 | 21 | 0.88 | 0.88 | 0.88 |
| 44 加 美 農 | 農業科 ◎ | 40 | 4 | 36 | 17 | 3 | 20 | 0.56 | 0 | 0 | 0 | 17 | 3 | 20 | 0.56 | 0.27 | 0.27 |
| | 農業機械科 ◎ | 40 | 7 | 33 | 22 | 0 | 22 | 0.67 | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 | 22 | 0.67 | 0.70 | 0.70 |
| | 生活技術科 ◎ | 40 | 8 | 32 | 3 | 11 | 14 | 0.44 | 0 | 0 | 0 | 3 | 11 | 14 | 0.44 | 0.22 | 0.22 |
| 45 古 川 工 | 土木情報科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 23 | 6 | 29 | 1.21 | 0 | 0 | 0 | 23 | 6 | 29 | 1.21 | 1.54 | 1.54 |
| | 建築科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 20 | 11 | 31 | 1.29 | 0 | 0 | 0 | 20 | 11 | 31 | 1.29 | 1.17 | 1.17 |
| | 電気電子科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 27 | 8 | 35 | 1.46 | 0 | 0 | 0 | 27 | 8 | 35 | 1.46 | 0.81 | 0.77 |
| | 機械科 ◎ | 80 | 32 | 48 | 65 | 1 | 66 | 1.38 | 1 | 0 | 1 | 64 | 1 | 65 | 1.35 | 1.08 | 1.08 |
| 46 鹿島台商 | 商業科 | 120 | 48 | 72 | 26 | 11 | 37 | 0.51 | 0 | 0 | 0 | 26 | 11 | 37 | 0.51 | 0.67 | 0.67 |
| | 化学技術科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 10 | 19 | 29 | 1.21 | 0 | 0 | 0 | 10 | 19 | 29 | 1.21 | 1.73 | 1.73 |
| 大 崎 地 区 計 | | 1,280 | 471 | 809 | 455 | 294 | 749 | 0.93 | 4 | 1 | 5 | 451 | 293 | 744 | 0.92 | 0.97 | 0.96 |
| 47 涌 谷 | 普通科 | 160 | 48 | 112 | 57 | 31 | 88 | 0.79 | 1 | 1 | 2 | 56 | 30 | 86 | 0.77 | 0.63 | 0.63 |
| 48 小 牛 田 農 林 | 農業技術科・農業科学コース◎ | 40 | 16 | 24 | 17 | 9 | 26 | 1.08 | 0 | 0 | 0 | 17 | 9 | 26 | 1.08 | 1.33 | 1.33 |
| | 農業技術科・農業土木コース◎ | 40 | 16 | 24 | 25 | 3 | 28 | 1.17 | 0 | 0 | 0 | 25 | 3 | 28 | 1.17 | 1.96 | 1.96 |
| | 総合学科 | 120 | 48 | 72 | 22 | 53 | 75 | 1.04 | 0 | 0 | 0 | 22 | 53 | 75 | 1.04 | 1.17 | 1.17 |
| 49 南 郷 | 普通科 | 40 | 5 | 35 | 8 | 6 | 14 | 0.40 | 0 | 0 | 0 | 8 | 6 | 14 | 0.40 | 0.47 | 0.47 |
| | 産業技術科 | 40 | 9 | 31 | 26 | 2 | 28 | 0.90 | 0 | 0 | 0 | 26 | 2 | 28 | 0.90 | 0.94 | 0.94 |
| 遠 田 地 区 計 | | 440 | 142 | 298 | 155 | 104 | 259 | 0.87 | 1 | 1 | 2 | 154 | 103 | 257 | 0.86 | 0.94 | 0.94 |

《全日制課程》

| 学校名 | 学科・コース | 平成29年度募集定員 | 前期選抜等合格者数 | 後期選抜募集人数 | 後期選抜出願者数 | | | | 後期選抜欠席者数 | | | 後期選抜受験者数 | | | 平成28年度後期選抜 | | |
|-----------|----------------|------------|-----------|----------|----------|-------|--------|------|----------|----|-----|----------|-------|--------|------------|------|------|
| | | | | | 男 | 女 | 計 | 出願倍率 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 受験倍率 | 出願倍率 | 受験倍率 |
| 50 佐 沼 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 71 | 61 | 132 | 0.79 | 2 | 0 | 2 | 69 | 61 | 130 | 0.77 | 1.17 | 1.17 |
| 51 登 米 | 普通科 | 120 | 36 | 84 | 47 | 45 | 92 | 1.10 | 0 | 0 | 0 | 47 | 45 | 92 | 1.10 | 1.25 | 1.25 |
| 52 登米総合産業 | 農業科 ◎ | 40 | 8 | 32 | 25 | 10 | 35 | 1.09 | 0 | 0 | 0 | 25 | 10 | 35 | 1.09 | 1.10 | 1.10 |
| | 機械科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 21 | 1 | 22 | 0.92 | 0 | 0 | 0 | 21 | 1 | 22 | 0.92 | 1.08 | 1.08 |
| | 電気科 ◎ | 40 | 12 | 28 | 22 | 0 | 22 | 0.79 | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 | 22 | 0.79 | 0.56 | 0.56 |
| | 情報技術科 ◎ | 40 | 14 | 26 | 11 | 6 | 17 | 0.65 | 0 | 0 | 0 | 11 | 6 | 17 | 0.65 | 0.92 | 0.92 |
| | 商業科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 4 | 14 | 18 | 0.75 | 0 | 0 | 0 | 4 | 14 | 18 | 0.75 | 0.79 | 0.79 |
| | 福祉科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 8 | 12 | 20 | 0.83 | 0 | 0 | 0 | 8 | 12 | 20 | 0.83 | 0.72 | 0.72 |
| 登米地区計 | | 600 | 190 | 410 | 209 | 149 | 358 | 0.87 | 2 | 0 | 2 | 207 | 149 | 356 | 0.87 | 1.07 | 1.07 |
| 53 築 館 | 普通科 | 160 | 48 | 112 | 49 | 54 | 103 | 0.92 | 0 | 0 | 0 | 49 | 54 | 103 | 0.92 | 1.13 | 1.13 |
| 54 岩ヶ崎 | 普通科・文系教養コース◎ | 80 | 16 | 64 | 23 | 24 | 47 | 0.73 | 0 | 0 | 0 | 23 | 24 | 47 | 0.73 | 0.57 | 0.57 |
| | 普通科・理系教養コース◎ | 40 | 16 | 24 | 6 | 1 | 7 | 0.29 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 7 | 0.29 | 0.42 | 0.39 |
| 55 迫 桜 | 総合学科 | 200 | 80 | 120 | 76 | 59 | 135 | 1.13 | 0 | 1 | 1 | 76 | 58 | 134 | 1.12 | 0.82 | 0.82 |
| 56 一迫商 | 流通経済科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 9 | 9 | 18 | 0.75 | 0 | 0 | 0 | 9 | 9 | 18 | 0.75 | 0.58 | 0.58 |
| | 情報処理科 ◎ | 40 | 10 | 30 | 12 | 3 | 15 | 0.50 | 0 | 0 | 0 | 12 | 3 | 15 | 0.50 | 0.40 | 0.40 |
| 栗原地区計 | | 560 | 186 | 374 | 175 | 150 | 325 | 0.87 | 0 | 1 | 1 | 175 | 149 | 324 | 0.87 | 0.79 | 0.79 |
| 北部地区合計 | | 2,880 | 989 | 1,891 | 994 | 697 | 1,691 | 0.89 | 7 | 3 | 10 | 987 | 694 | 1,681 | 0.89 | 0.95 | 0.95 |
| 57 石 巻 | 普通科 | 240 | 72 | 168 | 93 | 80 | 173 | 1.03 | 5 | 0 | 5 | 88 | 80 | 168 | 1.00 | 1.02 | 1.01 |
| 58 石巻好文館 | 普通科 | 200 | 60 | 140 | 68 | 76 | 144 | 1.03 | 1 | 0 | 1 | 67 | 76 | 143 | 1.02 | 1.00 | 1.00 |
| 59 石巻西 | 普通科 | 200 | 60 | 140 | 67 | 83 | 150 | 1.07 | 0 | 0 | 0 | 67 | 83 | 150 | 1.07 | 0.87 | 0.87 |
| 60 石巻北 | 総合学科 | 200 | 80 | 120 | 77 | 59 | 136 | 1.13 | 0 | 0 | 0 | 77 | 59 | 136 | 1.13 | 0.77 | 0.77 |
| 61 宮城水産 | 海洋総合科 | 160 | 59 | 101 | 46 | 10 | 56 | 0.55 | 0 | 0 | 0 | 46 | 10 | 56 | 0.55 | 0.86 | 0.86 |
| 62 石巻工 | 機械科 ◎ | 80 | 32 | 48 | 53 | 2 | 55 | 1.15 | 0 | 0 | 0 | 53 | 2 | 55 | 1.15 | 1.19 | 1.17 |
| | 電気情報科 ◎ | 40 | 17 | 23 | 20 | 0 | 20 | 0.87 | 0 | 0 | 0 | 20 | 0 | 20 | 0.87 | 0.67 | 0.67 |
| | 化学技術科 ◎ | 40 | 5 | 35 | 18 | 6 | 24 | 0.69 | 0 | 0 | 0 | 18 | 6 | 24 | 0.69 | 0.54 | 0.54 |
| | 土木システム科 ◎ | 40 | 8 | 32 | 31 | 1 | 32 | 1.00 | 0 | 0 | 0 | 31 | 1 | 32 | 1.00 | 1.71 | 1.71 |
| | 建築科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 20 | 4 | 24 | 1.00 | 0 | 0 | 0 | 20 | 4 | 24 | 1.00 | 1.13 | 1.13 |
| 63 石巻商 | 総合ビジネス科 | 200 | 80 | 120 | 70 | 38 | 108 | 0.90 | 0 | 0 | 0 | 70 | 38 | 108 | 0.90 | 0.97 | 0.97 |
| 64 桜 坂※ | 普通科・学励探求コース◎ | 120 | 48 | 72 | * | 43 | 43 | 0.60 | * | 0 | 0 | * | 43 | 43 | 0.60 | 0.21 | 0.21 |
| | 普通科・キャリア探求コース◎ | 80 | 32 | 48 | * | 59 | 59 | 1.23 | * | 0 | 0 | * | 59 | 59 | 1.23 | 0.96 | 0.96 |
| 石巻地区計 | | 1,640 | 569 | 1,071 | 563 | 461 | 1,024 | 0.96 | 6 | 0 | 6 | 557 | 461 | 1,018 | 0.95 | 0.89 | 0.89 |
| 65 気仙沼 | 普通科 | 200 | 60 | 140 | 85 | 82 | 167 | 1.19 | 2 | 1 | 3 | 83 | 81 | 164 | 1.17 | 1.07 | 1.04 |
| 66 気仙沼西 | 普通科 | 80 | 16 | 64 | 29 | 50 | 79 | 1.23 | 0 | 0 | 0 | 29 | 50 | 79 | 1.23 | 0.95 | 0.95 |
| 67 志津川 | 普通科 ☆ | 80 | 53 | 27 | 0 | 4 | 4 | 0.15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 0.15 | 0.19 | 0.19 |
| | 情報ビジネス科 ☆ | 40 | 6 | 34 | 3 | 3 | 6 | 0.18 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 6 | 0.18 | 0.37 | 0.37 |
| 68 本吉響 | 総合学科 | 120 | 22 | 98 | 40 | 21 | 61 | 0.62 | 0 | 0 | 0 | 40 | 21 | 61 | 0.62 | 0.86 | 0.86 |
| 69 気仙沼向洋 | 情報海洋科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 30 | 4 | 34 | 1.42 | 0 | 0 | 0 | 30 | 4 | 34 | 1.42 | 0.92 | 0.92 |
| | 産業経済科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 9 | 27 | 36 | 1.50 | 0 | 0 | 0 | 9 | 27 | 36 | 1.50 | 1.33 | 1.33 |
| | 機械技術科 ◎ | 40 | 16 | 24 | 26 | 2 | 28 | 1.17 | 0 | 0 | 0 | 26 | 2 | 28 | 1.17 | 1.13 | 1.13 |
| 本吉地区計 | | 640 | 205 | 435 | 222 | 193 | 415 | 0.95 | 2 | 1 | 3 | 220 | 192 | 412 | 0.95 | 0.91 | 0.90 |
| 東部地区合計 | | 2,280 | 774 | 1,506 | 785 | 654 | 1,439 | 0.96 | 8 | 1 | 9 | 777 | 653 | 1,430 | 0.95 | 0.90 | 0.90 |
| 全 日 制 合 計 | | 14,720 | 4,828 | 9,892 | 6,645 | 5,267 | 11,912 | 1.20 | 134 | 27 | 161 | 6,511 | 5,240 | 11,751 | 1.19 | 1.24 | 1.22 |

◎は後期選抜において、出願学科以外のいずれか1つを第2志望とできる学科(柴田農林においては川崎校を除く)、●は後期選抜において、普通科を第2志望にできる学科、★は一括募集、☆は連携型選抜を実施する学科、※は市立高等学校を示す。■は併設中学校からの入学を含む。

3 各学校・学科別の後期選抜実施状況

《定時制課程》

| 学校名 | 学科・コース | 平成29年度募集定員 | 前期選抜等合格者数 | 後期選抜募集人数 | 後期選抜出願者数 | | | | 後期選抜欠席者数 | | | 後期選抜受験者数 | | | | 平成28年度後期選抜 | | |
|-----------|--------------------|------------|-----------|----------|----------|----|-----|------|----------|---|---|----------|----|-----|------|------------|------|--|
| | | | | | 男 | 女 | 計 | 出願倍率 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 受験倍率 | 出願倍率 | 受験倍率 | |
| 1 白石七ヶ宿 | 普通科 / 昼 | 40 | 8 | 32 | 10 | 4 | 14 | 0.44 | 0 | 1 | 1 | 10 | 3 | 13 | 0.41 | 0.35 | 0.35 | |
| 2 大河原商 | 普通科 / 夜 | 40 | 0 | 40 | 8 | 2 | 10 | 0.25 | 0 | 0 | 0 | 8 | 2 | 10 | 0.25 | 0.13 | 0.13 | |
| 3 宮城二工 | 電子機械科 / 夜 ◎ | 40 | 7 | 33 | 8 | 0 | 8 | 0.24 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 8 | 0.24 | 0.11 | 0.08 | |
| | 電気科 / 夜 ◎ | 40 | 3 | 37 | 4 | 0 | 4 | 0.11 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 3 | 0.08 | 0.05 | 0.05 | |
| 4 名 取 | 普通科 / 夜 | 40 | 3 | 37 | 5 | 3 | 8 | 0.22 | 0 | 0 | 0 | 5 | 3 | 8 | 0.22 | 0.13 | 0.13 | |
| 5 貞 山 | 普通科 / 昼 | 120 | 32 | 88 | 23 | 11 | 34 | 0.39 | 0 | 0 | 0 | 23 | 11 | 34 | 0.39 | 0.48 | 0.48 | |
| | 普通科 / 夜 | 40 | 2 | 38 | 4 | 2 | 6 | 0.16 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 6 | 0.16 | 0.12 | 0.12 | |
| 6 古川工 | 機械科 / 夜 ◎ | 40 | 3 | 37 | 2 | 0 | 2 | 0.05 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0.05 | 0.13 | 0.13 | |
| | 電気科 / 夜 ◎ | 40 | 1 | 39 | 3 | 1 | 4 | 0.10 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 0.10 | 0.05 | 0.05 | |
| 7 田尻さくら | 普通科 / I部 (午前) | 80 | 10 | 70 | 10 | 15 | 25 | 0.36 | 1 | 0 | 1 | 9 | 15 | 24 | 0.34 | 0.45 | 0.43 | |
| | 普通科 / II部 (午後夕間) | 40 | 1 | 39 | 8 | 5 | 13 | 0.33 | 0 | 0 | 0 | 8 | 5 | 13 | 0.33 | 0.16 | 0.16 | |
| 8 佐 沼 | 普通科 / 夜 | 40 | 3 | 37 | 4 | 4 | 8 | 0.22 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 8 | 0.22 | 0.03 | 0.03 | |
| 9 東 松 島 | 普通科 / I部 (午前) ◎ | 40 | 8 | 32 | 7 | 13 | 20 | 0.63 | 0 | 0 | 0 | 7 | 13 | 20 | 0.63 | 0.93 | 0.93 | |
| | 普通科 / II部 (午後) ◎ | 40 | 5 | 35 | 13 | 9 | 22 | 0.63 | 0 | 0 | 0 | 13 | 9 | 22 | 0.63 | 1.00 | 1.00 | |
| | 普通科 / III部 (夜間) ◎ | 40 | 2 | 38 | 5 | 2 | 7 | 0.18 | 0 | 0 | 0 | 5 | 2 | 7 | 0.18 | 0.08 | 0.08 | |
| 10 石巻北飯野川 | 普通科 / 昼 | 40 | 8 | 32 | 12 | 1 | 13 | 0.41 | 0 | 0 | 0 | 12 | 1 | 13 | 0.41 | 0.30 | 0.27 | |
| 11 気仙沼 | 普通科 / 夜 | 40 | 1 | 39 | 1 | 1 | 2 | 0.05 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0.03 | 0.08 | 0.08 | |
| 12 仙台大志※ | 普通科 / I部 (午前午後) ◎ | 90 | 27 | 63 | 33 | 18 | 51 | 0.81 | 0 | 0 | 0 | 33 | 18 | 51 | 0.81 | 1.25 | 1.24 | |
| | 普通科 / II部 (午後夜間) ◎ | 30 | 9 | 21 | 8 | 2 | 10 | 0.48 | 0 | 0 | 0 | 8 | 2 | 10 | 0.48 | 0.50 | 0.50 | |
| 13 仙 台 工※ | 建築土木科 / 夜 ◎ | 40 | 5 | 35 | 6 | 0 | 6 | 0.17 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 6 | 0.17 | 0.08 | 0.08 | |
| | 機械科 / 夜 ◎ | 40 | 5 | 35 | 6 | 0 | 6 | 0.17 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 6 | 0.17 | 0.27 | 0.27 | |
| 定 時 制 合 計 | | 1,000 | 143 | 857 | 180 | 93 | 273 | 0.32 | 3 | 1 | 4 | 177 | 92 | 269 | 0.31 | 0.34 | 0.34 | |

◎は後期選抜において、出願学科以外のいずれか1つを第2志望とできる学科、※は市立高等学校を示す。

1 後期選抜における地区別の受験倍率（全日制）

| 地区 | H29 | H28 | 増減 | H24 |
|-----|------|------|-------|------|
| | 受験倍率 | 受験倍率 | | 一般入試 |
| 南部 | 0.96 | 1.01 | -0.05 | 0.95 |
| 中部南 | 1.38 | 1.43 | -0.05 | 1.43 |
| 中部北 | 1.42 | 1.47 | -0.05 | 1.45 |
| 北部 | 0.89 | 0.95 | -0.06 | 0.96 |
| 東部 | 0.95 | 0.90 | 0.05 | 0.97 |
| 合計 | 1.19 | 1.22 | -0.03 | 1.21 |

2 後期選抜における学科別の受験倍率（全日制）

| 学科 | H29 | H28 | 増減 | H24 |
|------|------|------|-------|------|
| | 受験倍率 | 受験倍率 | | 一般入試 |
| 普通 | 1.22 | 1.28 | -0.06 | 1.25 |
| 農業 | 1.12 | 1.12 | 0.00 | 0.94 |
| 工業 | 1.23 | 1.26 | -0.03 | 1.19 |
| 商業 | 1.09 | 1.10 | -0.01 | 1.27 |
| 水産 | 0.85 | 0.95 | -0.10 | 0.96 |
| 体育 | 1.83 | 1.83 | 0.00 | 1.54 |
| 英語 | 1.40 | 1.69 | -0.29 | 1.20 |
| 家庭 | 1.15 | 1.08 | 0.07 | 1.06 |
| 看護 | 1.54 | 1.61 | -0.07 | 1.50 |
| 理数 | 1.28 | 1.04 | 0.24 | 1.13 |
| 美術 | 2.05 | 1.00 | 1.05 | 1.00 |
| 総合 | 0.95 | 0.89 | 0.06 | 1.11 |
| 福祉 | 0.83 | 0.72 | 0.11 | — |
| 災害科学 | 1.13 | 0.88 | 0.25 | — |
| 合計 | 1.19 | 1.22 | -0.03 | 1.21 |

3 学校・学科別の後期選抜の受験倍率等（全日制）

(H29)

| | 学校名 | 学科名 | 受験倍率 |
|---|-----|--------------|------|
| 1 | 宮城工 | インテリア科 | 2.38 |
| 2 | 利府 | スポーツ科学科 | 2.29 |
| 3 | 仙台工 | 建築科 | 2.28 |
| 4 | 亘理 | 普通科 普通コース | 2.08 |
| 5 | 宮城野 | 美術科 | 2.05 |
| 6 | 塩釜 | ビジネス科 | 2.02 |
| 7 | 松島 | 普通科 | 1.96 |
| 8 | 仙台工 | 土木科 | 1.83 |
| 9 | 泉 | 英語科 | 1.79 |
| 9 | 富谷 | 普通科 人文コース | 1.79 |

(H28)

| | 学校名 | 学科名 | 受験倍率 |
|----|-------|------------------|------|
| 1 | 柴田 | 体育科 | 2.42 |
| 2 | 仙台工 | 機械科 | 2.10 |
| 3 | 仙台工 | 土木科 | 2.06 |
| 4 | 仙台工 | 建築科 | 2.00 |
| 5 | 小牛田農林 | 農業技術科 農業土木コース | 1.96 |
| 6 | 泉 | 英語科 | 1.92 |
| 7 | 仙台工 | 電気科 | 1.90 |
| 8 | 宮城工 | 化学工業科 | 1.88 |
| 9 | 松島 | 普通科 | 1.87 |
| 10 | 泉 | 普通科 | 1.86 |

4 平成28年度に学科改編を行った学校・学科の後期選抜の受験倍率

| 学校名 | 学科名 | H29 | H28 |
|-----|-------|------|------|
| | | 受験倍率 | 受験倍率 |
| 多賀城 | 災害科学科 | 1.13 | 0.88 |

5 平成27年度に学科改編を行った学校・学科の後期選抜の受験倍率

| 学校名 | 学科名 | H29 | H28 | H27 |
|------------|-------|------|------|------|
| | | 受験倍率 | 受験倍率 | 受験倍率 |
| 登米 総合産業 | 農業科 | 1.09 | 1.10 | 1.24 |
| | 機械科 | 0.92 | 1.08 | 0.96 |
| | 電気科 | 0.79 | 0.56 | 0.88 |
| | 情報技術科 | 0.65 | 0.92 | 1.46 |
| | 商業科 | 0.75 | 0.79 | 0.42 |
| | 福祉科 | 0.83 | 0.72 | 0.83 |
| 合計 | | 0.85 | 0.86 | 0.97 |

| 学校名 | 学科名 | H29 | H28 | H27 |
|-----|--------------|------|------|------|
| | | 受験倍率 | 受験倍率 | 受験倍率 |
| 桜坂 | 普通科学励探求コース | 0.60 | 0.21 | 0.71 |
| | 普通科キャリア探求コース | 1.23 | 0.96 | 0.96 |
| 合計 | | 0.85 | 0.51 | 0.81 |

6 今後の入試日程

- | | | |
|----------|--------|-----------------------------|
| (1)後期選抜 | 合格発表 | 3月16日(木) 午後3時 |
| (2)第二次募集 | 出願期間 | 3月17日(金)～3月21日(火) 午後3時 |
| | 学力検査等 | 3月22日(水) |
| | 合格発表 | 3月22日(水)又は3月23日(木) |
| (3)通信制課程 | 出願期間 | 3月12日(日)～3月17日(金) 午前11時 |
| | 面接 | 3月21日(火)～3月23日(木)のうちのいずれか1日 |
| | 結果通知送付 | 3月24日(金) |

みやぎ総文２０１７・南東北インターハイ
開催１００日前ＰＲイベントの開催について

- 1 目 的 平成２９年に本県で開催される「第４１回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文２０１７）」及び「平成２９年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）」の開催及びその概要について、広く県民に周知を図る。
- 2 主 催 第４１回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会
平成２９年度全国高等学校総合体育大会宮城県実行委員会
- 3 開催日時 平成２９年４月２３日（日）
①午前１０時から ＰＲ活動・展示
②午前１１時から 大会ＰＲパレード
③正午から ステージイベント
- 4 会 場 サンモール一番町商店街「藤崎」前 特設ステージ ほか
- 5 内 容

- (1) 大会ＰＲパレード <場所：ぶらんど～む一番町商店街（仙台フォーラス前）～
サンモール一番町商店街（藤崎前） / 時間：11:00～>

イ 宮城広瀬高等学校吹奏楽部のマーチングバンド。生徒委員が横断幕を持って大会をＰＲ。
ロ パレード終了後、サンモール一番町商店街「シリウス・一番町」前においてマーチングバンドによるミニコンサートを開催。

- (2) ステージイベント <場所：藤崎前設置特設ステージ / 時間：12:00～14:30(予定)>

- ① オープニングセレモニー 【12:00～】

宮城県工業高等学校製作のカウントダウンボードお披露目式（予定）など

- ② 高校生の芸術文化・スポーツ活動発表 【12:30～14:30（予定）】

| 発表団体 | 内 容 |
|------------------|--------------------------|
| 気仙沼高等学校 マンドリン部 | 「器楽・管弦楽部門」より、マンドリン合奏を披露。 |
| 小牛田高等学園 フラダンス部 | 「特別支援学校部門」より、フラダンスを披露。 |
| 仙台二華高等学校 音楽部 | 「合唱部門」より、心あたたまる歌声の合唱を披露。 |
| 塩釜高等学校 少林寺拳法部 | 塩竈市で開催する「少林寺拳法」の演武を披露。 |
| 仙台第三高等学校 フェンシング部 | 気仙沼市で開催する「フェンシング」の競技紹介等。 |

- (3) 生徒委員によるＰＲ活動 <場所：サンモール一番町商店街 / 時間：10:00から随時>

イ 両大会のチラシ、ポケットティッシュ等を配布し両大会をＰＲ。
ロ 短冊に夢や願い事を書くブースを設置。（創造の短冊プロジェクト）

- (4) 展示 <場所：サンモール一番町商店街（藤崎前） / 時間：10:00～16:00>

両大会と高校生の準備活動の様子等をパネル展示により紹介

松島自然の家野外活動フィールドの供用開始について

松島自然の家は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けたため、東松島市宮戸地区への移転を決定後、本館等建設予定地内に東松島市の応急仮設住宅があることから、本館等と野外活動フィールドに工区を分け、再建事業を進めてきた。

このたび、「野外活動フィールド」が完成することから、本館等に先行して供用を開始するもの。

1 供用開始日 平成29年6月1日（木）（予定）

2 場 所 東松島市宮戸字西大浜田1
（本館等建設予定地【旧東松島市立宮戸小学校】向かい）

3 施設概要（資料1参照）

(1) 敷地面積 31,288㎡

(2) 建物等 1,396㎡

| 施設名 | 構造・仕様等 | 面積 | 概要 |
|------------|----------|---------|----------------------|
| 管理棟 | 鉄骨造2階建 | 380㎡ | 事務室、宿直室、ワークスペースほか |
| コテージ棟 | 鉄骨造平屋建 | 285㎡ | 40名利用可 |
| 野外炊飯棟A | 鉄骨造平屋建 | 288㎡ | 120名利用可 |
| 野外炊飯棟B | 鉄骨造平屋建 | 384㎡ | 160名利用可 |
| トイレ棟A | 木造平屋建 | 39㎡ | 男女トイレ、多目的トイレ |
| トイレ棟B | 木造平屋建 | 20㎡ | 男女トイレ、多目的トイレ |
| 運動場 | クレイ舗装 | 約8,000㎡ | 200mトラック |
| | 天然芝 | | フットサルコート |
| テントサイトA・B | 天然芝 | | 2箇所、160名利用可 |
| キャンプファイヤー場 | クレイ舗装 | | 2箇所 |
| 駐車場 | アスファルト舗装 | | 普通車40台、大型バス8台 駐車可 |

(3) 特 色 一度に2団体まで利用できるよう、野外炊飯棟、テントサイト及びキャンプファイヤー場をそれぞれ2箇所ずつ配置

4 プログラム（資料2参照）

(1) コンセプト 「宮戸島を 遊びつくそう 学びつくそう」

(2) プログラム “自然” に親しむプログラム，“文化” に親しむプログラム

“防災” について学ぶプログラム，“スポーツ” に親しむプログラム

5 今後のスケジュール（予定）

○ 平成29年4月25日（火） 完成記念式典

○ 平成29年6月 1日（木） 供用開始

松島自然の家配置図



【野外活動フィールド 各施設の概要】

| 施設名 | 面積 | 概要 |
|------------|--|--|
| 管理棟 | 335.91 m ² | ・職員の事務室、宿直室、ワークスペース、倉庫、車庫、男女トイレ4、多目的トイレ1 |
| コテージ棟 | 284.64 m ² | ・板張りのフロアに40名利用できる施設、可動式仕切板で2部屋に仕切ることができる。 ・雨天時の活動場所、荒天時の避難場所、シャワー6、更衣室2、トイレ10 |
| 野外炊飯棟A | 384.00 m ² | ・かまど12、ガスコンロ6、流し場、倉庫、足洗い場、机椅子10人×12グループ |
| 野外炊飯棟B | 288.00 m ² | ・かまど16、ガスコンロ8、流し場、倉庫、足洗い場、机椅子10人×16グループ |
| トイレ棟A | 38.88 m ² | ・男女トイレ6、多目的トイレ2 |
| トイレ棟B | 20.52 m ² | ・男女トイレ2、多目的トイレ2 |
| 運動場 | 約 8,000 m ² 約 6,000 m ² 約 1,000 m ² | (全体) ・200mトラック (クレイ舗装) ・フットサルコート (天然芝) |
| テントサイトA・B | | ・2箇所 5人用×8張、6人用×20張、160名利用可 |
| キャンプファイヤー場 | | ・2箇所 キャンプファイヤーを行うことのできるサークル |
| 駐車場 | | ・普通車40台、大型バス40台駐車可 |

| 凡例 | 名称 |
|----|-----------|
| | 芝生 |
| | 草地 |
| | 土 |
| | アスファルト |
| | カラーアスファルト |

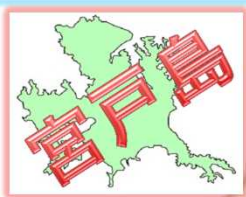
東松島市復興計画による防災集団移転事業
 実施します。

配置図・案内図
 A1 (1/750)
 A3 (1/1500)

A008



宮城県松島自然の家 SINCE 1970



を

遊びつくそう (^_^)/

学びつくそう (^o^)

宮戸島の“自然”に親しむプログラム

自然体験プログラム

- ・大高森登山
- ・海水浴
- ・星空観察
- ・ネイチャーゲーム

手作りアートプログラム

- ・貝殻細工
- ・流木アート
- ・サンドアート

チーム力向上プログラム

- ・いかだ作り
- ・ウォークラリー
- ・シーカヤック体験

仲間作りプログラム

- ・野外炊飯
- ・MAP
- ・キャンプファイヤー

学び合い

- 宮戸島の自然について学び合います。
- 宮戸島の文化や歴史を学び合います。
- 防災について学び合います。

出会い

- 地域、ボランティア、指導者等、多くの人々と出会います。
- 宮戸島の自然・文化と出会います。

触れ合い

- 宮戸島の海・山等の大自然と触れ合います。
- 宮戸島の人々やボランティア等、多くの人々と触れ合います。

宮戸島の“文化”に親しむプログラム

宮戸島の知恵に学ぶプログラム

- ・宮戸島ウォークラリー
- ・海苔すき体験

縄文体験プログラム

- ・縄文村見学
- ・縄文土器作り
- ・勾玉作り

“防災”について学ぶ体験プログラム

非常時対応プログラム

- ・防災グッズ作り
- ・空き缶ご飯作り
- ・救助・運搬体験

体験から学ぶプログラム

- ・宮戸島防災ウォークラリー
- ・体験を聞く会

“スポーツ”に親しむプログラム

ニュースポーツプログラム

- ・グランドゴルフ
- ・マレットゴルフ
- ・ペタンク

スポーツプログラム

- ・野球
- ・サッカー
- ・バスケットボール

☆パネルと映像で学ぶ「東日本大震災と防災」(常設展示)

・本館エントランスホール全体に広がるパネルと映像で、東日本大震災の被害と津波や災害に対する備えや心構えについて学びます。

☆「防災キャンプ」

・東日本大震災後の被災の経験を生かし、非常時の生活を総合的に体験するキャンプを開催します。

宮城県生涯学習審議会への諮問について

1 諮問概要

(1) 諮問事項

地域の力を活用した学びの場の充実と「学びと実践の循環」の仕組みづくり

(2) 諮問理由

第9次宮城県生涯学習審議会の答申（平成28年9月）において、住民相互の学び合いの成果を地域に還元し、活動や学びにつなげていく「学びと実践の循環」をつくることにより、学びや活動の充実を通じた地域コミュニティの再生と宮城の「創造的な復興」を実現することが、本県が今後目指す生涯学習の姿であるという提言がなされた。

その具現化のためには、多様な主体と連携し誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実、学びや活動を支える人材の育成、さらに、それらをコーディネートする仕組みの構築が必要である。

このような理由から、地域住民や関係機関、行政の協働による生涯を通して学ぶことができる環境の充実とその成果を活用できる社会の実現に向けた具体的方策について諮問した。

(3) 諮問した日

平成29年2月15日（水）

2 審議の方向性

県では、地域住民、行政、教育機関、NPO、企業等の関係機関が情報共有や行動連携などゆるやかなネットワークを結び、地域の学びを支える基盤となる「生涯学習プラットフォーム」の構築を目指すこととしている。

審議会では、多様な機関と連携した学習機会の充実や、学習成果の適切な評価と活用の具体的な方策について検討を行い、その内容は「生涯学習プラットフォーム」の仕組みづくりに反映させる。

3 今後のスケジュール（予定）

| | | |
|-------|-----|--------------------------------------|
| 平成29年 | 5月～ | 宮城県生涯学習審議会において審議（5回開催予定） 現地調査等の実施 |
| 平成30年 | 6月 | パブリックコメント実施 |
| 平成30年 | 7月 | 宮城県生涯学習審議会から答申 |



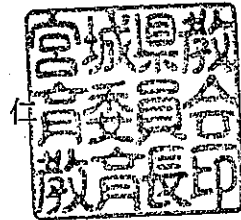
生 第 8 1 7 号

平成29年2月15日

宮城県生涯学習審議会会長 殿

宮城県教育委員会

教育長 高橋



地域の力を活用した学びの場の充実と「学びと実践の循環」の仕組みづくり
について（諮問）

このことについて、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（平成
2年法律第71号）第10条第2項の規定により、別紙理由書を添えて諮問します。

理 由 書

都市化・過疎化の進行，核家族化といった家族形態の変容により，地域のつながりが希薄化し，地域活力の低下やコミュニティの存続が危ぶまれています。これらは，全国の様々な地域で抱えていた課題ですが，本県をはじめ東日本大震災の被災地では，震災により一挙に顕在化・加速化しました。

また，グローバル化や情報通信技術の進展，働き方の多様化やワーク・ライフ・バランスの進展により，個人の価値観やライフスタイルも多様化し，求められる学習形態も変化しています。

このような生涯学習を取り巻く環境の変化に対応するため，これまでの生涯学習の成果を活かした地域づくりや社会づくり，また，震災から得た学びや気づきを活かした生涯学習のあり方などについて第9次宮城県生涯学習審議会に諮問していたところ，平成28年9月に答申をいただきました。

答申では，住民相互の学び合いの成果を地域に還元し，活動や学びにつなげていく「学びと実践の循環」の中で，将来を担う子どもや地域を担う人材を育てていくことを地域活性化の原動力とし，学びを核としてコミュニティを再生する「創造的な復興」を実現することが，今後，本県が目指す生涯学習の姿であるとの提言がなされております。

これらを実現していくためには，誰もがいつでも学ぶことができる学習環境を整備するとともに，その成果を適切に評価し，活用につなげる仕組みづくりが必要であると考えます。

このようなことから，地域の住民や関係団体・機関，行政の協働による生涯を通して学ぶことができる環境の充実方策とその成果を活用できる社会の実現に向けた具体的方策について諮問するものです。

今後の宮城県の生涯学習推進について ～東日本大震災を乗り越えて～ (答申の概要)

- 平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、地域コミュニティの変容、人口減少の加速化、社会教育施設の機能停止など、人々の生活を取り巻く環境が大きく変化した。
- 一方、日頃から育まれてきた人と人のつながりや支え合いが、震災後の復興に大きな力を発揮し、地域コミュニティの重要性が再認識された。
- 第9次宮城県生涯学習審議会では、これまでの生涯学習の成果を活かした地域づくりや社会づくりに加え、震災から得た学びや気づきを活かした今後の宮城県の生涯学習のあり方について、検討を行った。

I 宮城県の生涯学習を取り巻く状況

1 東日本大震災から学んだこと

- (1) 日頃からの地域のつながりの大切さ
- (2) 公民館等の役割と重要性の再認識
- (3) 子どもの力
- (4) 地域の行事や文化芸術・スポーツの持つ力

2 社会状況等の変化

- (1) 社会環境の変化
- (2) 学習環境の変化

3 宮城県における生涯学習の課題

- (1) 社会環境に対応した学習機会の提供
- (2) 地域コミュニティの構築
- (3) 地域づくりへの子どもの参加・参画
- (4) 学習成果の評価と活用
- (5) 生涯学習を支える人材の育成

震災からの学び

- ・人と人のつながりの大切さ
- ・学校が地域に開かれていることの重要性
- ・地域コミュニティを支える公民館等社会教育施設の役割
- ・復興を支える子どもの力
- ・心の復興の一助となる文化芸術やスポーツの力

課題

- ・震災後、複雑化する地域課題への取組
- ・地域コミュニティの再生・活性化
- ・子どもが主体的に地域づくりに関わる環境の整備
- ・学びの成果を評価し活動につなぐ仕組み
- ・学びと活動をコーディネートする人材の育成

II 本答申における「学び」の捉え方について

- 必要な知識・技能を身に付け、様々な体験・活動の中で実践する過程で、個人の意識や思考、行動などが変容すること
- 新たな「気づき」を得ること。他者との「学び合い」によって、さらなる「気づき」を得ること
- 自らの自己有用感を高めること
- 「学び」をさらに深め、新たな「学び」を喚起すること
- 「学ぶこと」は「生きること」そのもの

III これからの生涯学習推進について重点的に取り組むべき施策の方向性

1 学びを核として人と人がつながり地域を支えるみやぎ

- (1) 世代を超えて人がつながる学び合いの促進
- (2) 自分の住む地域を知り、地域活動への参加につなぐ取組
- (3) 地域の学び・活動の拠点としての学校、公民館等社会教育施設のあり方

2 子どもと大人が学び合い育ち合うみやぎ

- (1) 子どもの力を引き出し、地域参加を促進する取組の推進
- (2) 家庭・学校・地域が連携・協働し子どもを支える取組

3 震災の教訓を次世代に確実に引き継ぎ、活かすみやぎ

- (1) 災害に対応できる力の育成
- (2) 震災の記憶の継承
- (3) 震災を経験したみやぎの力

4 あらゆる人の学びを応援するみやぎ

- (1) 誰もが求める学びを見つけ、学び続けるための支援の充実
- (2) 多様な主体と連携した学びの提供
- (3) 学びと実践の循環

IV 施策を実現するために必要なこと

- 1 学びの成果を適切に評価し地域で活かす環境の整備
- 2 地域の学び、地域づくりを支える人材の育成
- 3 生涯学習と学校教育の連携
- 4 生涯学習プラットフォームの構築

生涯学習プラットフォームとは
関係機関が情報共有や行動連携などゆるやかなネットワークを結び、地域の学びを支える基盤となるもの

V 宮城県が目指す生涯学習の姿

住民相互の学び合いの成果を地域に還元し、活動や学びにつなげていくことが地域の活力となり、学びが深まる。

その学びと実践の循環の中で将来を担う子どもを育て、地域を担う人材を育てることを今後の地域活性化の原動力とし、震災により変容したコミュニティを学びを核として再生する「創造的な復興」を実現する。

住民の学びや活動の充実を通じた地域コミュニティの再生と宮城の「創造的な復興」

誰もが生涯を通じて学び 自ら考え主体的に生きる力を身に付ける

学び合いの成果を社会に還元する「学びと実践の循環」をつくる

| | | |
|----------|---|--|
| <p>1</p> | <p>○「平成28年度 宮城県スポーツ合同表彰式」を開催</p> <p>平成28年度宮城県スポーツ賞の表彰式を、宮城県体育協会、宮城県高等学校体育連盟、宮城県中学校体育連盟との4者合同で開催した。</p> <p>宮城県スポーツ賞は、スポーツに関して顕著な成果を挙げ、本県のスポーツに多大なる貢献を果たした個人及び団体を顕彰するもの。</p> <p>【概要】</p> <p>期 日 平成29年2月11日 (土)</p> <p>場 所 県庁2階 講堂</p> <p>対 象 特別功績賞 個人：7名 代表受領 保原 彩夏 (聖ウルスラ学院英智高等学校) (世界ジュニアバドミントン選手権大会 女子ダブルス優勝)</p> <p>功績賞 個人：63名, 団体：13団体 代表受領 東北学院大学 体育会弓道部 (全国大学弓道選抜大会 優勝)</p> |   <p>(担当：スポーツ健康課)</p> |
| <p>2</p> | <p>○多賀城高校が「新しい東北」復興功績顕彰 (復興庁) に選定</p> <p>東日本大震災以降に多賀城高校の生徒が取り組んだ、地域住民への聞き取り調査による津波波高表示の設置活動や多賀城市と連携して被災状況を説明・案内する「まち歩き」等の防災活動などが、復興庁が選定する「新しい東北」復興功績顕彰 (集中復興期間5年間の活動を顕彰するもの) に選ばれ、その報告のため、2月16日 (木) に同校の生徒と関係者が教育長を表敬訪問した。</p> <p>【概要】</p> <p>○顕彰の趣旨</p> <p>東日本大震災の発災から5年が経過し、今年度から復興・創生期間に入ったことを機に、現在、被災地に進む「新しい東北」の実現に向けた取組について、大きな貢献をされている個人及び団体を顕彰することにより、こうした個人・団体の活動を広く情報発信するとともに、被災地内外への普及・展開を促進することを目指す。</p> <p>○募集件数 109件</p> <p>○選定結果 10件</p> <p>○顕彰式 日時：平成29年2月9日 (木) 場所：せんだいメディアテーク</p> |   <p>(担当：高校教育課・スポーツ健康課)</p> |

○仙台育英学園高等学校が選抜高校野球大会に出場

第89回選抜高等学校野球大会に東北代表として出場する「仙台育英高等学校硬式野球部」の選手及び関係者が、その報告のため2月20日（月）に県を表敬訪問した。

【大会概要】

大会名 第89回選抜高等学校野球大会
開催日 平成29年3月19日（日）～12日間
会 場 阪神甲子園球場
出場数 32校



(担当：スポーツ健康課)

○仙台二華高等学校の生徒が国連本部派遣研修等に派遣

日本の高校生を代表し、ニューヨークの国連本部での研修に派遣されることになった生徒、及び全国のユネスコスクールから選考され、インドネシア研修に参加する仙台二華高等学校の生徒が、その報告のため3月3日（金）に教育長を表敬訪問した。

【概要】

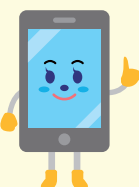
- 生徒名 宮城県仙台二華高等学校 2年 西貝茂辰, 1年 相沢咲希
- 国連本部派遣研修
第63回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会（外務省など主催）で、特賞（文部科学大臣賞）を受賞、他の受賞者3名とともに、ニューヨークの国連本部での研修に派遣される。
- 第7回ESD国際交流プログラム
全国各地のユネスコスクールから選考により12名が選抜され、インドネシア研修に参加する。



(担当：高校教育課)

家族で話し合い

スマホ・携帯の適切な利用を!



スマートフォンや携帯電話(以下「スマホ・携帯」)はとても便利ですが、学力への悪影響や生活習慣の乱れにつながる場合もあるため、適切に利用する必要があります。

今回は子どもたちとスマホ・携帯の関わり現状と、適切な利用のための県の取り組みについてご紹介します。

スマホ・携帯の現状と学力との関係

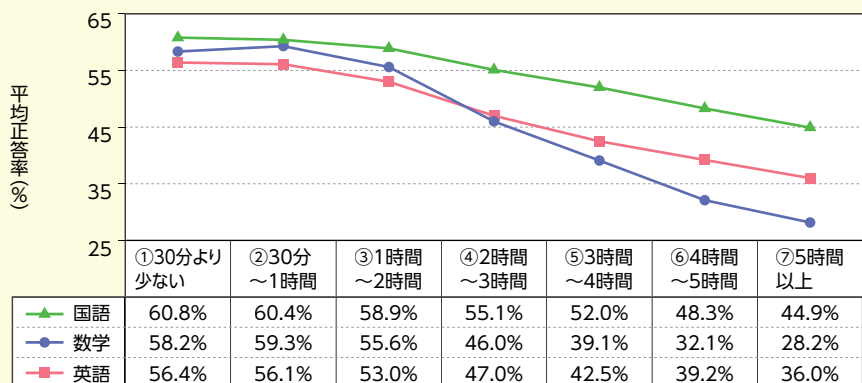
平成28年度の全国学力・学習状況調査および公立高等学校みやぎ学力状況調査の結果では、本県児童生徒のスマホ・携帯の所持率は、小学6年生が54.3%、中学3年生が77.3%、高校2年生が99.3%と、それぞれ全国平均を下回るものの、年々増加しています。また、使用時間では、特に「3時間以上使用する」と回答した小学生が前年度より増加しており、生活習慣への影響が心配されています。

使用時間と学力調査の正答率の関係性に着目すると、「平日に勉強以外でスマホ・携帯を使用する時間が1時間以内の児童生徒にはほとんど影響が見

られません。使用時間が長い児童生徒ほど正答率が低くなる傾向が見られることから、生活習慣だけでなく、学

力面からもスマホ・携帯は適切に利用することが大切であると考えられます(グラフ)。

グラフ スマホ・携帯の使用時間と正答率(高校2年生)



※①には「持っていない」および「使わない」と回答したものは含まれません。

注意喚起の取り組み

県では、児童生徒の生活習慣の改善や学力の向上に向けて、スマホ・携帯の適切な利用のための取り組みを行っています。

平成27年度は、県内の約140人の児童生徒を集め「小・中・高校生スマホ・フォーラム」を開催しました。

フォーラムでは適切な利用のための具体的な取り組みについて児童生徒同士が話し合うとともに、参加者全員で、各学校での意見を基に作成されたスマホ・携帯の使用についての宣言を行いました。

さらに、宣言やフォーラムの内容を掲載したリーフレットを各学校に配布し、家庭におけるルール作りを推奨しました。

宣言

「わたしたちは家族と話し合い、ルールを決めてスマホ・携帯を使います。」

平成28年度は、各学校や地域の取り組みを掲載したリーフレットを作成し、学校での指導に利用しているほか、家庭でのルール作りを推奨するチラシを県内の販売店な



注意喚起のチラシ(平成28年7月作成)

どで配布し、スマホ・携帯の適切な利用を促進しています。

マイルールのすすめ

子どもたちがスマホ・携帯を適切に利用するためには、「なぜ必要なのか」「何に使うのか」など、家庭でしっかりと話し合い、ルールを決めることが大切です。また、決めたルールについては、定期的に話し合い、見直していくことも必要です。

ルール作りのヒント

- 「使用時間」使用場面「用途」「料金」など具体的に設定しましょう。
- ルールの例
 - 使用は1時間以内とし、夜9時以降は電源をオフにします。
 - アプリを勝手にダウンロードしません。



お子さんの学力や生活習慣に悪い影響を与えないように、スマホ・携帯を適切に利用するためのルールを、ぜひ家族で話し合しましょう。

県教育企画室

022(211)36016

<http://www.pref.miyagi.jp/>

soshiki/kyou-kikaku/

しっかり寝ル きちんと食ベル よく遊ブ で健やかに伸びル

みやぎっ子 ルルブル フォーラム

早寝・早起き・朝ごはん・外遊びを社会全体で

ルルブル

子どもたちの望ましい生活習慣の定着を目指す「みやぎっ子ルルブルフォーラム」が1月29日、仙台市宮城野区の夢メッセみやぎで開催された。東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太教授の基調講演などのほか、タレントで3児の母のくわばたりえさんと川島教授による特別対談も行われた。子育て世代から寄せられた質問に答えながら、子どもの健やかな成長に必要な「ルルブル」の大切さを呼び掛けた。

特別対談 ルルブル子育て ～元気な子どもを育てるまほうの言葉～

《出席者》東北大学 川島隆太 教授 タレントくわばたりえさん 《進行役》仙台放送アナウンサー 梅島三環子さん



タレントクワバタオハラ くわばたりえさん

くわばたりえ 1976年生まれ。大阪府出身。お笑いコンビ「クワバタオハラ」のボケ担当。2009年に結婚。3児(2男1女)のママとして現在子育て奮闘中。2012年4月から2016年3月までNHK Eテレ「おくくく子育て」のMCを務め、自身の子育て経験を記した「くわばたりえの子育て」(クワバタオハラ) (日本文芸社)など、数々の育児関連書籍を出版。全国のママたちから多くの共感を集めている。



東北大学加齢医学研究所 所長 みやぎっ子ルルブル推進会議 顧問 川島隆太 教授

くわしま・りゅうた 1959年千葉県生まれ。東北大学大学院医学系研究科修了。東北大学加齢医学研究所講師、東北大学未来科学技術共同研究センター教授などを経て、2014年から現職。09年から東北大学加齢医学研究所スマートエイジング国際共同研究センター長も務めている。「みやぎっ子ルルブル推進会議」顧問。

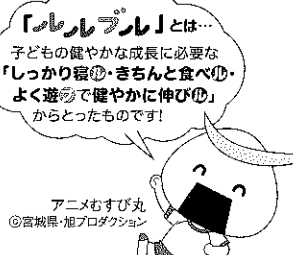
子どもは未来を担う 最も大切な財産



梅島 くわばたさんは「子育て」の司会を4年間務められました。その中で最も印象に残ったのは何ですか。くわばた 「一番「寝る」は「守る」ということですね。例えば、逆上がりの練習を遅くから見ていた時、できたときに「もうやめた。お母さん見て」って表情で伝えることが、寝ることに繋がるといって話を聞きました。今も実行しています。川島 子どもが何かに達成したとき、その場で認めて褒めてあげることが専門用語で「即事フィードバック」といいます。やる気を引き出す方法として知られています。専門用語を使うと難しく感じられるので、「見守る」というのもいい表現ですね。梅島 ここからは事前に寄せられた質問に答えていただきます。川島 「ルルブル」の大切さを具体的に考えていきたいと思

寝ることは見守ること 今も実行しています。川島 「寝る」は「守る」といいます。まずは「しっかりと寝る」について、「くわばたさんはお子さんを何時に寝かせていますか」という質問をいただきます。くわばた 9時に布団に入るようにしているんですが、3人が寝付くまでは40分くらいかかってしまいます。いつまでも寝ないと「早よ寝ろ」と怒鳴ってしまうこともあります。川島 次の「きちん」と「食ベル」については、川島先生に「簡単にできる理想的な朝ごはんを教えてください」という質問が寄せられています。川島 朝ごはんの理想形はありますが、それを目標にしてもできなくなると元に戻ってしまいがちです。そこを「まずは、おかしをもう一品増やしましょう」という提案をしています。朝作るのが大変な場合は夜に作っておくのもいいです。それが実践すれば自然と食品の数が減り、バランスの良い食事に近づいていくはずです。くわばた 子どもが食べるべきと食べないべきの差が大きいところがあるんですが、どうしたらいいですか。川島 一般論としては、早く寝ているか、おやつを食いつまみすぎているか、この2つを注意するのはいかがでしょうか。川島 「ルルブル」について、川島先生に「室内でできる、おすそ分けの遊びを教えてください」という質問が来ています。川島 基本的には、多くの友達

が、子どもは逆に緊張して眠れなくなるんです。川島先生、いい方法はありませんか。川島 日中、外でしっかりと遊ぶ日光に当たることです。日光に当たると脳の中でいろいろなことが起きて寝やすくなることと分かっています。子どもにとって、理想は0時に寝ることです。くわばた 8時半にはお布団に入る癖を付けることが大切ですね。梅島 「寝る前の絵本の読み聞かせはどのようにしていますか」という質問もありますが、くわばたさん、いかがですか。くわばた 3人の子供が持つてくる本を全部読むと寝るのが遅くなってしまうので、最近は寝る前の読み聞かせをやめています。川島 「ルルブル」は「しっかり寝る・きちん」と「食ベル」からつなぐものです。子どもは未来を担う最も大切な財産です。その財産をきちんと育てていかなければならないと思います。梅島 最後に来場者の皆さんにメッセージをお願いします。くわばた 「ルルブル」の意味を初めて聞いたときは「当たり前のことやん」と思いましたが、その当たり前の前ができていない自分を改めて気づくことができました。今後は子どものためにできることをもっと実践して、自分の意見をしっかりと伝える子になっていきたいと考えています。川島 子どもの生活習慣が大事なこと、数多くの科学的根拠によって裏付けされています。子育てに迷ったときは「ルルブル」を思い出してください。そして、お互いに優しい気持ちになります。今は大変でも「人生でこんな素晴らしい時期はない」と後で必ず気づくので、子どもを抱っこできる喜びを感じてください。



アニメすび丸 ©宮城県・福プロダクション

県のルルブル出前講座も実施

《ルルブル登録会員取組紹介》(株)オイルプランナリ 常務取締役 星野 豊さん
オイルプランナリは名取市増田を拠点に産業廃棄物処理業務を行っている会社で、現在約40名の社員が働いています。当社では以前から社員一人一人が働きやすい環境づくりを目指しており、子育て中の社員の育児休暇や時短勤務なども早く導入してきました。ルルブルの取り組みについても積極的に実践してもらうため、年4回ある社内研修の中で、県の出前講座も実施しました。私たち中小企業にとって最も大切な経営資源は従業員であり、その活力は充実した家庭生活から生まれるのです。今後も新たな活動をしながら企業の発展につなげていきたいと考えています。

脳科学から「ルルブル」を詳しく解説

子どもの生活習慣は脳が考えている以上に重要な問題です。まず大切なのは「しっかりと寝る」こと。夜更かしをするとか寝れず、学力も低下します。これは細胞内でエネルギーをつくるミトコンドリアの働きが低下するから。私たちは深い眠りと浅い眠り(レム睡眠)を繰り返して朝を迎えます。深い眠りの際に出るのが成長ホルモンで、レム睡眠の際には脳は日中の学習や経験を整理し記憶します。睡眠時間が不足するとレム睡眠の回数が少なくなり、記憶が定着しにくくなります。睡眠時間が6時間未満だと、8時間の子と比べて、学力に大きな差が出ており、大脳の中で記憶形成を担う海馬もよく寝る子ほど大きく育つことが分かっています。また、睡眠不足の原因の一つに挙げられるスマートフォンは、利用時間が長くなるほど学力は低下します。特定のアプリを使っただけで、学習したことが全て記憶から消えてしまったという驚くべきデータもあり、家庭や学校で使い方を考えていくことも大切です。「きちん」と「食ベル」が脳科学でも注目されているのは、脳のエネルギー源となるのはと

親の生活習慣が子どもに影響

「よく遊ぶ」については、自然体験が多い子どもは意欲や好奇心が強いことが分かっています。運動と五感の脳の発達には5歳ごろに大人とほぼ一緒になるので、この間にどれだけ経験をさせるかが重要です。また、友達との遊びが多い子どもほどルルブルを守る意識が強くなり、社会への適応性も高くなっています。寝る、食ベル、遊ぶ、そして健やかに伸びる。当たり前のことですが、それができていないのが現代の社会です。親の生活習慣はそのまま子どもに反映します。この「ルルブル」を推進することが子どもたちにはもちろん、自分たちの幸せにも直結することと強く意識し、地域全体で取り組んでほしいと願っています。

平成28年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体表彰 小学生ルルブルポスターコンクール表彰

「みやぎっ子ルルブルフォーラム」では、右記優良活動団体の表彰と、県内小学校の児童を対象に実施されたポスターコンクールの表彰が行われました。ポスターコンクールは3つのテーマで作品を募集。63校293件の応募の中から厳正な審査を経て入賞した作品のうち、金賞受賞作品をご紹介します。

【テーマ】 しっかり寝ル

《 下学年(1-3年)の部 》
金賞 加美町立中野小学校 3年 岩松 優心 (いわまつりゆう)さん

《 上学年(4-6年)の部 》
金賞 名取市立愛島小学校 5年 新田 紗瑛 (にったあき)さん

【テーマ】 きちんと食ベル

《 下学年(1-3年)の部 》
金賞 石巻市立飯野川小学校 3年 旭 柊 (あさひしゅう)さん

《 上学年(4-6年)の部 》
金賞 多賀城市立天馬小学校 5年 上總 夏希 (かづむなつ)さん

【テーマ】 よく遊ブ

《 下学年(1-3年)の部 》
金賞 大崎市立西古川小学校 3年 横堀 珠己 (よこぼりたまき)さん

《 上学年(4-6年)の部 》
金賞 名取市立名足小学校 5年 小野寺 香実 (おののこのか)さん

| 平成28年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 | |
|--------------------------|---|
| 保育所 幼稚園 部門 | 大崎市松山子育て支援総合施設おぞら園 気仙沼市立大谷幼稚園 第二光の子保育園 仙台市上野山保育所 |
| 小学校 中学校 部門 | 仙台市立八幡小学校 仙台市立六郷小学校 大河原町立大河原南小学校 大和町立落合小学校 丸森町立筆南小学校 大郷町立大郷小学校 女川町立女川小学校 登米市立米山東小学校 加美町立中野小学校 栗原市立玉沢小学校 南三陸町立入谷小学校 南三陸町立名足小学校 仙台市立六郷中学校 気仙沼市立唐桑中学校 |

第72回国民体育大会冬季大会の結果について

1 大会概要

| | | 冬季大会 | | 本大会 |
|------|-----|----------------|----------------|----------------|
| | | スケート・アイスホッケー | ス キ ー | |
| 開催期間 | 開始日 | 平成29年 1月27日(金) | 平成29年 2月14日(火) | 平成29年 9月30日(土) |
| | 最終日 | 平成29年 1月31日(火) | 平成29年 2月17日(金) | 平成29年10月10日(火) |
| 開催地 | | 長野県 | 長野県 | 愛媛県 |

(※今後開催予定)

2 参加状況

| | | 冬季大会 | | 本大会 | 合計 |
|-------|------|--------------|-------|-----|-----|
| | | スケート・アイスホッケー | ス キ ー | | |
| 参加競技数 | | 2 | 1 | | 3 |
| 参加人員 | 本部役員 | 8 | 7 | | 15 |
| | 顧問 | 0 | 0 | | 0 |
| | 監督 | 7 | 3 | | 10 |
| | 選手 | 42 | 38 | | 80 |
| | 合計 | 57 | 48 | | 105 |

3 成績概況

(1) 総合成績

| 男女総合(天皇杯) | | 女子総合(皇后杯) | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| 20位 | 65点 | 22位 | 24点 |

(2) 至近5年間の開催地と宮城県の様況

| 開催地 | 68 東京・秋田 | 69 栃木・山形 | 70 群馬 | 71 岩手 | 72 長野 |
|-----------|----------|----------|-------|-------|-------|
| 天皇杯 順位 | 25 | 33 | 18 | 30 | 20 |
| 得点 | 48 | 20 | 82 | 41 | 65 |

(3) 東北各県の様況

| 県 | 青森 | 岩手 | 秋田 | 山形 | 福島 | 宮城 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 天皇杯 順位 | 3 | 4 | 5 | 11 | 25 | 20 |
| 得点 | 176 | 175 | 170 | 127 | 56 | 65 |

MIYAGI

2017 南東北インターハイ NEWS

No.7
1/26

問い合わせ先 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

平成29年度全国高等学校総合体育大会 宮城県実行委員会事務局 (宮城県教育庁全国高校総体推進室内) TEL: 022 (211) 3604

はばたけ世界へ南東北総体2017イベント

宮城県の高校生活動推進委員が南東北インターハイのPRを行いました！

平成28年12月11日(日)「山形国際交流プラザビッグウイング」にて、南東北インターハイのイベントが開催されました。宮城県からは、高校生活動推進委員がこのイベントに参加し、南東北インターハイのPR活動を行いました。

今回のイベントは山形県内の多くの高校生が、ステージイベントやブース出展に参加をする、とても大きなイベントでした。当日は雪が降る中ではありますが、たくさんの来場者(公式発表:11,000人)で会場は大いに賑わいました。

ステージでは、宮城県で行われる競技の紹介を推進委員全員で行いました。また、仙台・宮城観光PRキャラクターのむすび丸も登場し、会場は大いに賑わいました。

セレモニーでは、カウントダウンボードの除幕式、友情の花の種伝達式なども行われ、高校生活動推進委員会委員長の松橋七海さん(仙台三桜高2年)が宮城県の代表として除幕式・伝達式に参列しました。このカウントダウンボード(左下写真)は、山形県庁入り口に設置されています。

今回のイベントでは、PR活動としてチラシ・ポケットティッシュの配布の他に、南東北インターハイの展示ブースを設けて来場者にPRを行いました。

展示ブースではパネルを用いた宮城県・福島県の高校生活動の紹介、各県の開催競技紹介、「競技物品に触れてみよう」のコーナーなどを作り、来場者の方々に興味を持ってもらえるよう工夫をしました。ブースを訪れた方は、実際にフェンシングの剣を手に取り競技の体験をしたり、登山競技で選手が背負うリュックサックを背負ってみたりと、南東北インターハイのブースを楽しんでいただきました。



来場者にポケットティッシュを配布しました



競技体験 フェンシングに人気が集まりました！



また、特別ゲストとしてリオデジャネイロオリンピック男子4×100mリレー銀メダリストのケンブリッジ飛鳥選手が登場し、トークイベントが行われました。ケンブリッジ選手の高校時代の思い出やオリンピック時のエピソード、アスリートとしての生活についてなど、たくさんのお話を聞くことができました。

短い時間でしたが、非常に充実したイベントになりました。

このイベントは、山形県の高校生活動推進委員のみなさんを中心に運営にあたっていただきました。本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました！

これからも7月のインターハイ本番に向けてPR活動を頑張っていきます！！



宮城県開催競技の魅力発掘特集【第4回】

今回は、「ボート」競技を特集します。宮城県佐沼高等学校ボート部の練習におじゃまし、競技の魅力についてお話を伺いました。

その7 ボート (佐沼高校)

一糸乱れぬ漕ぎ手の調和と、コックス(舵手)同士のレースの駆け引きが魅力のボート競技。そのボート競技では、水上での練習が困難な冬場にどのような練習をしているのか、インターハイの強化指定校にもなっている佐沼高校ボート部の室内練習を取材させていただきました。「冬のトレーニングは、心肺機能と筋力を高めることを目的とした練習が多く、冬のトレーニングで蓄積した力が、シーズンに入った時に活かされていく」と、顧問の三塚先生はおっしゃっていました。部員のみなさんは「冬の練習はとても厳しい」と言っていました。真剣にトレーニングに取り組んでいました。佐沼高校ボート部のみなさんの、これからの活躍に期待しています。ありがとうございました！

□佐沼高校 2年 男子キャプテン 佐藤 慧 さん



従兄弟がボート競技で活躍していて、自分もやってみたくと思った。ボート競技の練習は厳しいが、頑張った分だけ結果がついてくるのでとてもやりがいがある。ラストスパートで力を入れて漕ぐ時に、とても迫力があるのでそこが競技の見どころ。

OH29 南東北インターハイに向けての意気込み

地元開催なので、ここ登米市を盛り上げたいと思う。みんなの前で優勝することを目標に、これから頑張っていきます！

□佐沼高校 2年 女子キャプテン 高橋 未羽 さん



高校で新しいことにチャレンジしたいと思って、ボート競技に興味を持った。ボート競技はやってみるととても大変だが、終わった後にとっても達成感を感じる。選手たちの声や頑張りをぜひ近くで見たい。

OH29 南東北インターハイに向けての意気込み

地元でのインターハイ開催は、地域の活性化に繋がるので嬉しい。自分にとっても最後の大会になるので、これまでの練習の成果を発揮して、良い成績を残したいです！



南東北インターハイ・みやぎ総文2017合同カウントダウンボードのお披露目式を行いました！

平成29年1月11日(水)、宮城県庁1階県民ロビーにおいて、「南東北インターハイ・みやぎ総文2017 合同カウントダウンボードのお披露目式」を行いました。

この合同カウントダウンボードは、宮城県白石工業高等学校の皆さんが7月からおよそ6ヶ月かけて製作してくれました。みやぎ総文2017のマスコットキャラクターであるむすび丸をモチーフにし、ボードの装飾から電光掲示板の電気基板システムまで一から生徒の手で作上げたものです。

お披露目式には製作校の白石工業高校の代表生徒が6名出席し、製作に当たった感想を発表しました。生徒は、「このカウントダウンボードには、これまで授業で学んだことを活かした喜びや、自分たちが考えたアイデアをシステムに盛り込んだ嬉しさ、放課後や冬休みにも作業を行った苦労など、自分たちの想いがぎゅっと詰まっています。」と話していました。



制作に当たった白石工業の代表生徒

白石工業高等学校の皆さん、お忙しい中の製作本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

このカウントダウンボードは、8月31日まで宮城県庁1階総合案内所側エレベーター前に設置しています。県庁にお越しの際は、是非御覧ください！



みやぎの協働教育

協働を合い言葉に

目標を共有し

地域と学校がつながる

「地域学校協働活動」

を推進します！



宮城県教育委員会では、平成 17 年度から、「みやぎの協働教育」の推進を施策に掲げ、家庭・地域・学校が相互に連携し支え合いながら強い絆で協働し、子供を育てる仕組みづくりを積極的に進めてきました。

これまでの取組の成果や課題を踏まえるとともに、多様な学校教育課題や地域課題等に対応するなど、「みやぎの協働教育」をさらに充実・発展させるために「地域学校協働活動」を推進することとしました。

未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える環境づくりへの御理解と御支援をよろしくお願ひします。

平成 29 年 3 月 宮城県教育委員会

「みやぎの協働教育」のこれから

これまでの取組から

目的

家庭・地域・学校が相互に連携し支え合いながら強い絆で協働し、子供を育てる**仕組みづくり**を推進して、家庭・地域の教育力の向上と地域全体で子供を育てる**体制の整備**を図る。

内容

協働教育を推進する組織を市町村等で整備し、地域と学校をつなぐコーディネーターを配置して、幅広い地域住民の参画による「**家庭教育支援**」・「**学校教育支援**」・「**地域活動支援**」を実施する。

成果

地域の方々の支援により、学校の学習活動が充実、学校環境が整備されました。

子供たちの体験活動の機会が充実し、学習活動への意欲が向上しました。

新しいコーディネーターやボランティアがなかなか見つかりません。

活動の継続・発展のためには、推進組織体制とコーディネート機能の強化が必要です。

地域が一体となって子供たちを育む気運が醸成されました。



地域の住民の生きがいづくり、住民同士のネットワークの構築につながりました。

課題

教育課題は、複雑化・多様化しており、地域と連携・協働した取組は、今後ますます重要です。



高齢化、人口減少が進む地域においては、震災からの復旧・復興、これからの地域づくりを担う人材の育成が急務です。

これまでの成果・課題を踏まえ、取組を継続・発展させるとともに、新しい教育課題や地域課題の解決に、より一層つなげるための事業の改善が必要

これからの取組の方向性

「目標」を共有した活動へ

学校教育等への支援を中心とした活動に加え、地域と学校が「**目標**」を共有しながら連携・協働し、「人づくり」「コミュニティの再生」につながる活動の充実を図ることが必要

組織体制とコーディネート機能の強化

地域コーディネーターの配置、学校の**地域連携担当**の位置付けを促進するとともに、市町村に**総合的な調整役となるコーディネーター**を配置するなど、推進組織とコーディネート機能の強化が必要

地域と学校が連携・協働した事業の一体的推進

各市町村で実施されている個々の活動の**一体的推進**や活動に関わる**ボランティア・団体等相互の交流**促進により、活動及び人材のネットワーク化を図ることが必要

具現化に向けた取組

「地域学校協働活動」の推進

「地域学校協働活動」とは

地域と学校が**目標を共有しながら連携・協働**し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動です。

- 活動内容・・・「**学校支援活動**」「**家庭教育支援活動**」「**地域活動**」「**放課後子ども教室**」等
※ 個々の活動及び活動に関わる人や団体のネットワーク化
- 推進組織・・・「**地域学校協働本部**」の組織化
地域学校協働活動推進員・統括コーディネーター・地域コーディネーターの配置
※ 学校の窓口として「**地域連携担当**」の位置付けを促進し、地域と学校の連携・協働体制を強化

「地域学校協働活動」の推進のために

活動推進のイメージ

新たな活動が始まるのではありません。これまでの取組をもとに、推進組織を強化し、個々の活動相互の連携・交流を図ります。

地域学校協働活動の実施

学校支援活動

- ・学習支援 ・環境整備
- ・登下校の見守り ・読み聞かせ 等

家庭教育支援活動

- ・家庭教育支援チームの設置
- ・親の学びの機会の提供 等

連携・交流

調整・実施

調整・実施

推進組織

地域学校協働本部

- ◆地域学校協働活動推進員
- ◆統括コーディネーター
- ◆地域コーディネーター

※地域の実情に応じて、市町村教育委員会、公民館、学校等に設置する。

連携 交流

連携 交流

放課後子ども教室

- ・放課後の安心安全な居場所づくり

地域活動

- ・自然体験活動・世代間交流活動
- ・地域づくり・防災活動 等

調整・実施

調整・実施

連携 調整

学校

◆地域連携担当

自治会等
地域団体

大学・NPO

地域住民

参画 協働

参画 協働

家庭・PTA

行政

地域の多様な主体

民間企業

活動の充実に向けて

◆ 目標の共有

「どんな子供たちを育むのか」「どんな力を身に付けさせるのか」といった「**目標**」を**家庭・地域・学校**で共有した取組が必要不可欠です。

◆ 交流の場の設置

地域と学校が連携・協働の体制を強化するためには、その拠点となる学校や社会教育施設等に、地域の支援者同士、さらに教員や社会教育関係職員等と**自由に交流できる場をつくる**ことが必要です。

◆ 子供たちの参画

地域づくりを担う人材の育成のために、**子供たちを支援の対象としてだけでなく、共に地域をつくるパートナーとして捉え**、地域活動に積極的に参画できる事業展開が必要です。

◆ 新しい地域の団体・組織（NPO・若者のサークル等）とのネットワーク構築

地域のボランティアや支援者を拡充していくことが難しい現状においては、**NPO**や**大学**、**地域の若者の団体**等の**新しい組織とつながる**ことが、事業の充実につながります。

◆ 地域づくり・地域おこしにつながる取組の実施

子供たちの**地域活動への参画の場**、そして、子供たちを含めた地域住民の「**協働力**」を高め、**発揮する場**として、地域創生につながる事業展開が必要です。

宮城県では、**「協働力」**の育成を目指します

- ◎ 主体的に考える態度
- ◎ 他者を理解する態度
- ◎ コミュニケーション力
- ◎ 協調的な問題解決力
- ◎ 参画意欲

家庭では

- ★ 学校以外の学びの場に、お子さんを積極的に参加させましょう。社会との接点をもつ重要な機会です。
- ★ 家庭の皆様も積極的に学校教育支援や地域づくりの活動に参加しましょう。
- ★ 家庭の中ではもちろん、地域の中でのコミュニケーションを大切にしましょう。



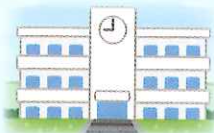
地域では

- ★ 子供たちは「地域の宝」です。地域の皆様が一体となって子供たちの成長を支えるために、できることから「地域学校協働活動」に参画しましょう。
- ★ 「地域づくり」や「地域の課題解決」に向けた取組に、子供たちを参画させましょう。子供たちは、地域づくりの力強いパートナーです。



学校では

- ★ 地域と連携・協働した学校づくりをより一層進めましょう。
- ★ 地域と連携・協働した学習活動を教育計画に位置付けましょう。
- ★ 地域連携担当を中心に全教職員で地域と連携・協働した活動を推進しましょう。
- ★ 学校内に地域の方々と交流する場を設置しましょう。



市町村では

- ★ 「地域学校協働本部」の組織化を進め、「地域学校協働活動推進員」「統括コーディネーター」を配置しましょう。
- ★ 各学校あるいは中学校区毎に、「地域コーディネーター」を配置しましょう。
- ★ 地域の支援者をさらに増やすとともに、社会教育施設等に交流の場を設置しましょう。



お問い合わせ先

<各市町村での活動に関する事>

| | |
|------------------------|-------------------------|
| 大河原教育事務所（生涯学習担当） | ☎ 0224-53-3111（代） 内線567 |
| 仙台教育事務所（生涯学習担当） | ☎ 022-275-9257 |
| 北部教育事務所（生涯学習担当） | ☎ 0229-91-0739 |
| 北部教育事務所栗原地域事務所（生涯学習担当） | ☎ 0228-22-2132 |
| 東部教育事務所（生涯学習担当） | ☎ 0225-95-1411（代） 内線577 |
| 東部教育事務所登米地域事務所（生涯学習担当） | ☎ 0220-22-2784 |
| 南三陸教育事務所（生涯学習担当） | ☎ 0226-24-2572 |

<事業全体に関する事>

宮城県教育庁生涯学習課 協働教育班

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL 022-211-3690 FAX 022-211-3697

このリーフレットは、宮城県教育庁生涯学習課ホームページ(<https://www.pref.miyagi.jp/site/kyodo/issuelist.html>)に掲載していますので御活用ください。

事業に関する
お問合せは、
こちらまで



みやぎ総文2017 NEWSLETTER

集え伊達の地に創造の短冊に思いをのせて



NO. 12
2017. 3. 9

開催まで
あと 144日!

今年度を振り返って

今年度の生徒実行委員会は、7月に第2期生33名が加入し、62名で活動してきました。本大会に向けた準備に加え、国際交流コンサート、2016ひろしま総文視察、300日前PRイベント、プレ大会など大きな行事もたくさんあり、その度にみやぎ総文2017への思いを新たに強めていきました。そんな生徒実行委員会のみなさんに、今年度の活動を振り返っていただきました。

生徒実行委員会委員長

三浦 凜理さん (仙台第一高校2年)

今年度は、国際交流コンサートや300日前PRイベント、プレ大会などの大きなイベント運営に加え、本大会に直結する各種事業の業務などを行いました。

そのため、実行委員一人一人にとって「みやぎ総文2017を私たちが作っている」という実感が得られた1年だったと考えています。

本大会まで残りわずかとなりました。「自分たちが今出来ること」を考え、実行し、みやぎ総文2017を大成功に収められるよう、生徒実行委員全員で団結し頑張ります！

総務委員会委員長

庄子 宥花さん (仙台第二高校2年)

私たち総務委員会は、縁の下の力持ちとして様々な角度から「おもてなし」について考えています。

今年度は7月に第2期生が加入し、どんどん活動が本格化してきました。夏休み明け頃からは、カウントダウンボードや案内マップの試作など、努力が具体的な形になっていく活動が増えてきた印象があります。話し合いが具現化されていく喜びはひとしおでした。

本大会まで残された日々は約4ヶ月。毎回の活動に集中して取り組み、みやぎ総文2017を史上最高の総文祭にするために全力投球していきます！応援よろしくお祈りします！

総合開会式委員会委員長

田中 七汐さん (仙台第一高校2年)

総合開会式委員会の今年度の主な活動は、プレ総合開会式の企画・出演でした。7月に第2期生が加わり、より創造性豊かで有意義な話し合いが出来るようになりました。プレ大会ほど規模の大きい式典・イベントは初めてのことでしたが、仲間と協力して良い結果で終わることが出来ました。

今、私たちは本大会の総合開会式の企画をしています。当日いらっしゃる多くの方々に、宮城県の魅力をよく知っていただき、高校生のパワーのすごさを感じていただけるような開会式を創っていきたくです。

パレード委員会委員長

大川 桃子さん (仙台二華高校2年)

パレード委員会では、2016ひろしま総文視察、プレパレード実施、本大会の準備を行ってきました。広島大会では運営方法などを調査し、出演者目線や観客目線で必要なことを感じ取ってきました。プレパレードでは、本格的な七夕飾りを作成して、スタートゲートに飾りました。また全員が出演団体の順番を覚え、観客の皆さんからの問い合わせにお答えしました。委員会活動を通して、一つひとつの企画を様々な視点から考えなければならぬことを学びました。

星あかりがたなく創造の道。集まってくたさる皆さんが笑顔で楽しんでいただけるような運営を目指し、委員一丸となって頑張ります。

広報イベント委員会委員長

庄子 瑤華さん (仙台第一高校2年)

広報イベント委員会では、「創造の短冊プロジェクト」の拡充に力を入れて取り組みました。短冊を1万枚集めるといふ大きな目標を立て、現在も継続的に活動を行っています。また、最近ではCM制作を行っています。内容はまだ秘密ですが、7月にKoboパーク宮城で流れる予定ですのでぜひご覧ください。

あと4ヶ月で本大会が開催されることを常に意識しながら、それまでに出来るだけ多くの人に総文祭のこと・宮城県のことを知ってもらい、訪れてもらえるように広報活動を行っています。これからも応援をよろしくお祈りします。

国際交流委員会委員長

倉本 葉光さん (宮城野高校2年)

今年度は、7月に国際交流事業として韓国的高校生を宮城県に招待しました。松島や青葉城址などで宮城県の魅力に触れていただき、国際交流コンサートでは韓国の皆さんにソゴチュムを披露していただきました。

現在は、本大会に招待する中国、アメリカ、韓国的高校生との交流に向けて言語や文化を学び、ビデオレターを作成しています。また、本大会の総合開会式の国際交流ステージや仙台市武道館で行う生徒交流会の企画を考えています。

みやぎ総文2017を通して知り合うことができた外国の友達と、未来につながる交流をしたいです。

学校用カウントダウンボードを作成しました

総務委員会では、みやぎ総文2017までのカウントダウンを県内の高校生が一体となって行うことで大会を盛り上げようと考え、各学校に掲示していただくためのカウントダウンボードを作成しました。むすび丸をモチーフとし、総務委員会の生徒が1枚1枚手作りで作り上げたもので、県内の各高校に掲示をお願いしました。

このカウントダウンボードは大会開催の99日前（4月23日）から表示できるようになっています。見かけた際には、日に日に近づくみやぎ総文2017の盛り上がりを感じていただきたいと思います。

開催100日前PRイベントを行います！

昨年9月に行った開催300日前PRイベントと同様に、南東北インターハイと合同で開催100日前PRイベントを行います。ぜひ会場に足をお運びいただき、両大会の熱気を肌で感じてください！

- 【日時】 平成29年4月23日（日）午前10時から午後4時まで
【場所】 サンモール一番町、ぶらんどーむ一番町
（仙台市青葉区、藤崎本館前特設ステージ）
【内容】 大会PRパレード、仙台駅設置カウントダウンボード完成披露、県内高校・特別支援学校生徒によるステージイベント（マンドリン演奏、フラダンス、合唱、少林寺拳法演舞、フェンシング実演）など
もちろんむすび丸も出陣！



むすび丸出陣日記

平成29年1月29日出陣

ユースフェスティバルinおおさき2017に参加しました。みやぎ総文2017では、軽音楽部門が大崎市で開催されます。今回は、出場予定の古川黎明高校の皆さんがむすび丸と一緒にPRしてくださいました。また、むすび丸は書道にも挑戦！自分の出来映えに満足したようです。



その13

囲碁部門



囲碁は、計算力、集中力、精神力を必要とするため、「頭脳の格闘技」とも呼ばれています。

みやぎ総文2017囲碁部門では、平成29年7月31日（月）、8月1日（火）の2日間、白石市のホワイイトキューブで熱戦が繰り広げられます。盤上の静かな戦いをぜひご堪能ください。

【問合せ先】

第41回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会事務局
（宮城県教育庁全国高校総合文化祭推進室）

T E L 022-211-3883

E - mail miyagi-soubunsaipref.miyagi.jp

H P <http://www.miyagi-soubun.jp/>



コクヨキャンパス × みやぎ総文2017

キャンパスロゴステッカーデザインアワード2017

みやぎ総文2017に協賛いただいているコクヨ株式会社様との連携により、キャンパスロゴステッカーデザインアワード2017を開催します！

「宮城県」あるいは「みやぎ総文2017」をイメージして、全国の高校等に在籍する生徒のみなさんに、キャンパスノートのロゴを自由にデザインしていただくものです。グランプリ作品は実際にステッカーとして製作され、みやぎ総文2017の参加者の皆さんにお配りします。

詳しくはホームページを御覧ください。たくさんの生徒のみなさんの応募をお待ちしています！

【参加対象者】

全国の高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、専修学校高等課程、高等専門学校（3年次まで）に在籍する生徒

【募集期間】

平成29年3月10日（金）～5月8日（月）

【賞】

グランプリ1点、優秀賞10点
賞状のほか、コクヨの文具やみやぎ総文2017オリジナルグッズをお贈りします。

【ホームページ】

<http://39campus.jp/stickeraward2017.html>



公式Youtubeチャンネルもあります！

[youtube みやぎ総文2017チャンネル](http://youtube.com/miyagisoubun2017)

検索



政宗 が育んだ “伊達” な文化

日本遺産 認定記念 シンポジウム

平成
29年
3/20 月・祝

12:30~16:00
(12:00開場)

会場 仙台国際センター 大ホール

PROGRAM

同時開催 伊達政宗公生誕450年記念プロモーション
キックオフセレモニー

構成文化遺産の紹介・上演

宮城県指定無形民俗文化財

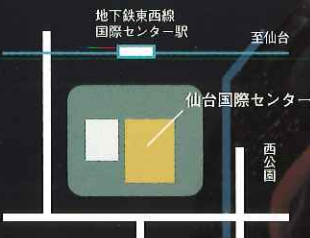
大沢の田植踊 大沢田植踊保存会 (仙台市泉区)の皆さん

「政宗が育んだ“伊達”な文化」のストーリー紹介

トークショー 日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力を語る

パネルディスカッション 日本遺産で地域を変えよう

会場へのアクセス



仙台国際センター
仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」下車
徒歩1分

入場無料
事前申込制

お申し込み方法は裏面をご覧ください。

重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 / 仙台市博物館

※仙台市博物館は平成29年3月31日まで休館しています。

展示期間は限定されていますので、詳しくはお問合せください。

主催：「伊達」な文化魅力発信推進事業実行委員会
事務局 / 宮城県教育庁文化財保護課 TEL022-211-3683

共催：宮城県 仙台市 塩竈市 多賀城市 松島町

後援： NHK仙台放送局 TBC東北放送 仙台放送 MYBテレビ
 KHB東日本放送 EFM仙台 河北新報社 朝日新聞仙台総局
毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 産経新聞東北総局



「政宗が育んだ“伊達”な文化」 日本遺産認定記念シンポジウム

平成29年 3/20 月・祝 12:30~16:00
会場 仙台国際センター 大ホール
入場無料・事前申込制(下記参照)

平成28年4月、「政宗が育んだ“伊達”な文化」が日本遺産に認定されました。それを記念しまして、このたびシンポジウムを開催することになりました。日本遺産とは、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が「日本遺産」として認定するものです。今回のシンポジウムでは、各界でご活躍の方々をお迎えし、「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力や、日本遺産を活かしたまちづくりや観光のあり方について考えていきます。これを機会に、宮城県が誇る歴史や文化にふれてみませんか。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

お申し込み方法

インターネット

申込サイトよりお申し込み下さい。
<http://www.knt-th.co.jp/ec/datebunka>

FAX・往復はがき

①氏名(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号
④申込人数(本人含む)を明記の上、お送りください。

〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-7-20 東邦ビル 5F
(株)近畿日本ツーリスト東北 仙台団体旅行支店
「政宗が育んだ“伊達”な文化」日本遺産認定記念シンポジウム係
FAX/022-221-6188



お申し込み受付期間 2017年3月15日(水) 必着

*先着順の受付となります。定員になり次第、受付を終了させていただきます。*定員に満たない場合、当日のご来場もお受けいたしますが、会場の席数を越えた場合、ご入場をお断りする場合があります。予めご了承ください。

同時開催

伊達政宗公生誕450年記念プロモーション
キックオフセレモニー

12:30~12:50 主催:宮城県、仙台市、仙台商工会議所、河北新報社

PROGRAM

13:05~

構成文化遺産の紹介・上演

宮城県指定無形民俗文化財

大沢の田植踊

大沢田植踊保存会(仙台市泉区)の皆さん



「政宗が育んだ“伊達”な文化」のストーリー紹介



大崎八幡宮(仙台市)

13:40~

トークショー

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の
魅力を語る

出演者 元仙台市博物館長……………佐藤憲一
俳優……………村上新悟
タレント……………小日向えり
宮城県教育庁文化財保護課長……………山田晃弘



鹽竈神社(塩竈市)

14:40~

パネルディスカッション

日本遺産で地域を変えよう

パネラー 宮城県教育委員会教育長……………高橋仁
仙台市教育委員会教育長……………大越裕光
塩竈市長……………佐藤昭
多賀城市長……………菊地健次郎
松島町長……………櫻井公一

クラブツーリズム
テーマ旅行部顧問……………黒田尚嗣
俳優……………村上新悟
タレント……………小日向えり

コーディネーター 日本遺産プロデューサー 本田勝之助



多賀城跡附寺跡(多賀城市)



元仙台市博物館長
佐藤憲一

東北大学文学部史学科卒業。専門は日本近世史。主な著書に「伊達政宗の手紙」(洋泉社)、「伊達政宗謎解き散歩」(中経出版)がある。



俳優
村上新悟

'01年無名塾に入塾。'13年NHK大河「八重の桜」から4年連続でドラマ出演。'16年放送の「真田丸」で直江兼続を好演。



タレント
小日向えり

歴ドル(=歴史好きアイドル)で「NHK大河ドラマ「真田丸」オフィシャル応援勇士」。関連イベントで活躍。



日本遺産プロデューサー
本田勝之助

全国80地域の地域・都市ブランド戦略を手掛ける地域プロデューサー。幅広い専門領域から地域ブランディングのための戦略を構築する。



瑞巖寺(松島町)